

取扱説明書

LED 表示機

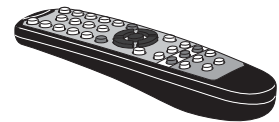
縦横兼用表示機

6 文字 1 段赤色表示機

NS-RS61MTS

8 文字 1 段フルカラー表示機

NS-FS81MTS



上手に使って上手に節電

このたびは、LED 表示機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 7 ページ）を必ずお読みください。
- ・ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

特長

● LAN（有線 / 無線）対応

パソコンと表示機を LAN 接続して、表示データの更新をすることができます。

● タイマー設定で曜日や時間に合わせてメッセージを表示

曜日ごとのイベントやタイムサービスなど、特定の時間帯や曜日にメッセージを表示することができます。

● 「パスワード」機能で誤操作防止

誤操作やいたずら防止のほか、表示機を複数台設置していても個別にリモコン操作をすることができます。

◆ ご使用の前に ◆

◎著作権法で保護されている言語・音楽・舞踏・美術・建築・図形・映画・写真などの著作物、二次的著作物、編集著作物の使用は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する以外は、権利者に無断で使用することはできません。

◎一般道路、その他公共エリア内に設置するときは、下記の法律や規則に基づき、その管理者の許可が必要となります。

- ・道路法第 32 条（道路の占有の許可）
- ・道路交通法第 77 条（道路の使用の許可）
- ・屋外広告物法及び屋外広告物条例
- ・消防関係法規
- ・著作権法

この装置は、商工業地域で使用されるべきものです。
住宅地域またはその隣接した地域で使用するとうラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

◎停電時、画面は表示されません。また、内蔵バッテリーの充電もできません。内蔵バッテリーが完全に充電されている場合、記憶された内蔵時計を約 60 日間（周囲温度 25℃の場合）保持します。

◎内蔵バッテリーの充電は約 30 時間かかります。本体の電源プラグがコンセントに接続されていると自動的に充電されます。なお、充電時間は表示機の表示状態に関係しません。

◆ ソフトウェアに関する重要なお知らせについて ◆

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェアに関する重要なお知らせ（69 ページ）をお読みください。

お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

◆ この取扱説明書をお読みになる前に ◆

- ・設定画面のイラストはイメージです。実際の表示とは若干異なります。
- ・設定画面の内容は工場出荷時の設定を元に記述しています。お買い上げの販売店などであらかじめ表示機の設定や表示データを登録しているときは、設定画面の内容が異なっている場合があります。

もくじ

特長	2
もくじ	3
安全上のご注意	4

◆ はじめに ◆

同梱品の確認 / 各部のなまえとはたらき	8
リモコンの使いかた	12
表示のしくみ	14
操作の流れ	16

◆ 準備 ◆

電源を入れる / 切る	18
表示を ON/OFF する	18
現在日時を合わせる	19

◆ USB メモリーを使う ◆

使用できる USB メモリー	20
USB メモリーの抜き差し	20
USB メモリーからデータを読み込む	21
USB メモリーへデータを書き込む	22

◆ チャンネルを編集する ◆

文章を作成 / 編集する	23
イメージの動作パラメータを変更する	32

◆ タイマーを設定する ◆

営業タイマー	34
チャンネルを表示する	36
チャンネル表示 (○ / ×)	37
チャンネルタイマー	38
優先タイマー	40

◆ 表示設定 ◆

割り込み表示	42
輝度設定	44
チャンネルプログラム	45
目標日設定	47
チャンネル番号表示	49
ミラー設定	50

◆ 表示機の設定 ◆

表示方向切り替え	51
パスワード設定	52
リセット	54
初期化	55
ネットワーク設定	56
スグスマ / マイトル切り替え	59

◆ その他 ◆

設置について	60
正しくお使いいただくために	63
動作モード一覧 (文章データ)	64
動作モード一覧 (イメージデータ)	65
故障かな?	66
ソフトウェアに関する重要なお知らせ	69
仕様	79
保証とアフターサービス	81

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

本製品の取り扱い

警告

絶対に分解・修理・改造しない  火災・感電・けが・故障の原因になります。 分解禁止 ●修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。	本製品にぶらさがったり、重い物を載せたり、落としたりするなどの強い衝撃を与えない  転倒・落下による、感電・けが・故障の原因になります。 禁止
内部に水・異物・指などを入れない  絶縁不良や内部への接触による、火災・感電・故障の原因になります。 禁止	吸気口・排気口をふさがない  内部の温度が異常上昇し、火災・故障の原因になります。 禁止
雷が鳴り出したら、本体や電源プラグにふれない  感電の原因になります。 接触禁止	設置するときは、必ず壁面等に金具で固定する  不安定な設置で使用すると、転倒・落下による、けが・故障の原因になります。

警告

落下・破損したとき、煙が出ているとき、異常な音がするときなどは、使用をやめて電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

故障が考えられます。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグの修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

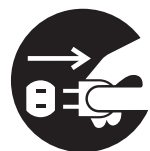
- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張って抜くと電源コードが切れたり、火災・感電の原因になります。

内部に水や異物などが入ったときは、使用をやめて電源プラグを抜く

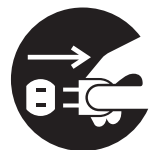


電源プラグを抜く

漏電や絶縁不良による、火災・感電の原因になります。

- 修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置・保管すると、絶縁劣化・漏電などにより、故障・火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

テレビ・ラジオ・アンプ・OA 機器
のそばに置かない



禁止

電波の干渉により、音声や画像などが乱れるおそれがあります。

不安定な所に置かない



禁止

転倒・落下によるけが・故障の原因になります。

乾電池の取り扱い

⚠ 警告

もれた液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、多量のきれいな水で十分に洗い流した後、すぐに医師の治療を受ける



失明やけがをするおそれがあります。

新・旧の乾電池や種類の違う乾電池
を混用しない



禁止

乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。

乾電池を充電したり、火の中に入れたり、加熱・分解しない



禁止

乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。

乾電池の ⊕ と ⊖ を逆にして使用しない



禁止

乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。

乾電池の ⊕ と ⊖ を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しない



禁止

乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。

使い切った乾電池はすぐに取り出す



使い切った乾電池を装着したまま長期間放置すると、乾電池の発熱・液もれ・破裂の原因になります。

- 液もれが起きている乾電池は使用しないでください。
- 万一、もれた液が身体に付いたら、多量のきれいな水で十分洗い流して、医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

保証期間内の乾電池を使う



乾電池の発熱によるやけどや液もれの原因になることがあります。

- 液もれが起きている乾電池は使用しないでください。
- 万一、もれた液が身体に付いたら、多量のきれいな水で十分洗い流して、医師の治療を受けてください。

リモコンを長期間使用しないときは乾電池を取り出す



乾電池の液もれの原因になります。

直射日光・高温・多湿の所を避けて保管する



乾電池の液もれ・発熱・破裂の原因になります。

設置上の注意

⚠ 警告

ゴミやほこりの多い所、温度・湿度が定格を超える所、油煙があたる所には設置しない



絶縁不良による故障の原因になります。

禁止

本体内部に入るネジ長が 11 ～ 15mm のネジを使用する



規定より長いネジや木ネジ等を使用すると、絶縁不良や内部への接触による、火災・感電・故障の原因になります。

アースを確実に取り付ける



故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

アース線接続

- アース工事は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。（アース工事費は、本製品の価格には含まれていません。）

本体の取り付け、取り外しは 2 人以上で行う



落下や転倒による、けが・故障の原因になります。

取り付けは、重量や風圧に十分耐える所に確実に行う



落下や転倒による、けが・感電・故障の原因になります。

人の頭や顔（特に目）があたるような位置には絶対に設置しない



人が本体にぶつかったときに、けがをするおそれがあります。

禁止

取り付け工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する

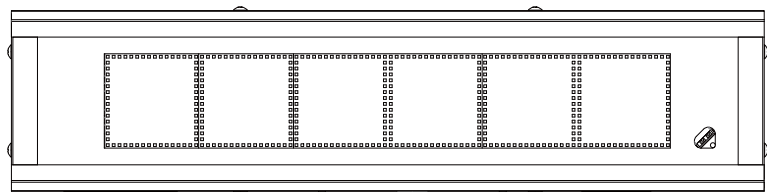


取り付け工事に不備があると、落下や転倒による、けが・感電・故障の原因になります。

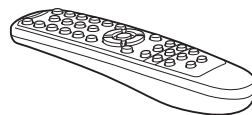
同梱品の確認 / 各部のなまえとはたらき

6 文字 1 段赤色表示機

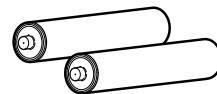
同梱品の確認



本体…1 台



リモコン…1 個



単 4 形乾電池…2 本

取扱説明書（本書）…………… 1 冊

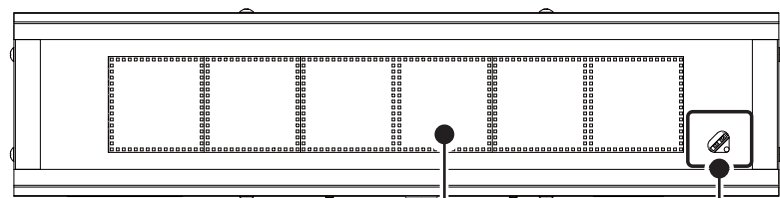
USB デバイスについてのお知らせ …… 1 枚

スグスマ2ご使用について…………… 1 枚

※その他、予告なしに補足説明書、チラシなどを同梱する場合があります。

各部のなまえとはたらき

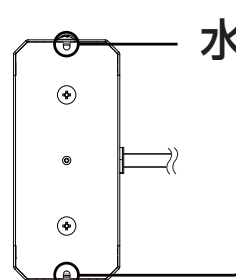
正面



表示部

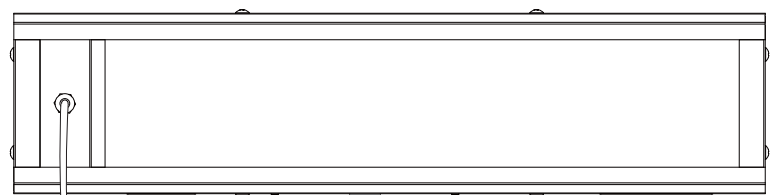
リモコン受光部

右側面



水抜き穴※2

背面



電源プラグ

アース線

天面



警告・解説シール

底面



銘板
シール

排気口※1

I/F カバー

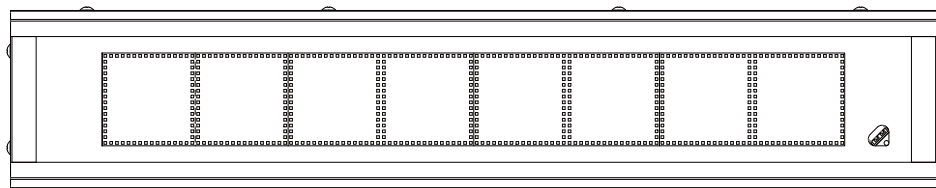
吸気口※1

※ 1：吸気口・排気口は横置き時水抜き穴兼用

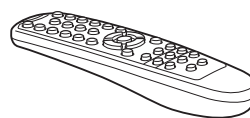
※ 2：縦置き時の水抜き穴

8 文字 1 段フルカラー表示機

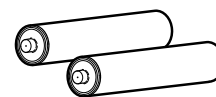
同梱品の確認



本体…1 台



リモコン…1 個



単 4 形乾電池…2 本

取扱説明書（本書）…………… 1 冊

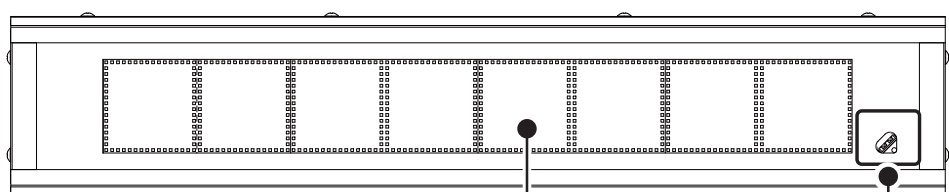
USB デバイスについてのお知らせ …… 1 枚

スグスマ2ご使用について…………… 1 枚

※その他、予告なしに補足説明書、チラシなどを同梱する場合があります。

各部のなまえとはたらき

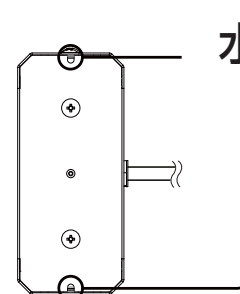
正面



表示部

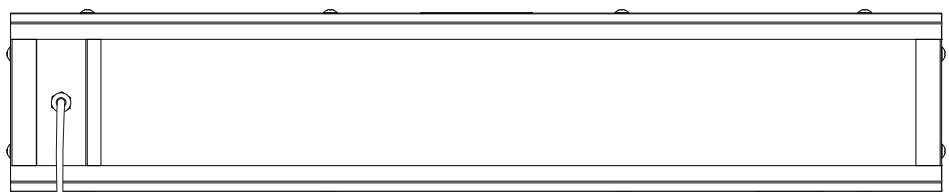
リモコン受光部

右側面



水抜き穴※2

背面



電源プラグ

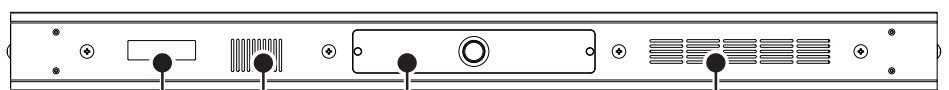
アース線

天面



警告・解説シール

底面



銘板
シール

排気口※1

I/F カバー

吸気口※1

※1：吸気口・排気口は横置き時水抜き穴兼用

※2：縦置き時の水抜き穴

各部のなまえとはたらき

リモコン



名称	機能
表示 ON/OFF	表示の ON/OFF 切り替え
文字入力	文章の作成・編集
飾りモード	未使用
飾り色	未使用
飾り速度	未使用
営業タイマー	表示機本体の表示時間の設定
チャンネルタイマー	チャンネルの表示時間の設定
優先タイマー	優先させるチャンネルの表示時間の設定
イメージ設定	イメージの動作パラメータの設定
時刻	現在日時の設定
輝度	表示部の明るさの設定
表示機能	接点入力、チャンネルプログラム、目標日設定、チャンネル番号表示、ミラー設定
システム機能	表示方向、パスワード、ネットワーク設定、スグスマ/マイルトル切り替え、マイルトル設定、リセット、初期化
割込表示	割込表示（通常表示を中断して、あるチャンネルを割り込ませて表示させる）の設定
○／×	チャンネル表示○／×の設定
データ転送	USB メモリーのデータの読み込み、書き込み
機能 1	外部信号出力 1 ^{※1} の ON/OFF
機能 2	外部信号出力 2 ^{※1} の ON/OFF
機能 3	未使用
デモ	未使用
テンキー	文字の入力（入力できる文字は次ページを参照）
十字キー	カーソルの移動／設定内容の選択
決定	選択した内容の決定／設定内容の保存
戻る	ひとつ前の設定画面に戻す／通常表示に戻す
削除	文字やデータなどの消去
文字修飾	文字修飾（サイズ・影・太字・反転・点滅）の設定
文字種類	文字種類の選択

※ 1：外部信号出力についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
※ 「音量－」「音量＋」「消音」「ファイル」「メニュー」は、使用できません。

入力できる文字の一覧

- ・ ボタンを押すたびに文字が切り替わります。
- ・ 入力できる文字はすべて全角です。半角にする場合は文字修飾モード（30 ページ）で設定します。

		文字種類		
		かな	カナ	英数字
テンキー	飾りモード 1あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	1
	飾り色 2かABC	かきくけこ	カキクケコ	2 ABC abc
	飾り速度 3さDEF	さしすせそ	サシスセソ	3 DEF def
	営業タイマー 4たGHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	4 GHI ghi
	チャンネルタイマー 5なJKL	なにぬねの	ナニヌネノ	5 JKL jkl
	優先タイマー 6はMNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	6 MNO mno
	イメージ設定 7まPQRS	まみむめも	マミムメモ	7 PQRS pqrS
	時刻 8やTUV	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	8 TUV tuv
	輝度 9らWXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	9 WXYZ wxyz
	システム機能 0わ	わをん 、、。－・～！？	ワヲン 、、。－・～！？	0
	表示機能 記号ゝ。〃	直前の文字に濁点、半濁点がつくとき→ゝ 〃 その他→下記の記号キーで入力できる文字一覧参照		下記の記号キーで入力 できる文字一覧参照
	割込表示 SP改行	(全角スペース) (改行)		

記号キーで入力できる文字一覧

、	。	－	，	．	・	：	？	！	”	°	´	//	々	メ	/	\	～	℃	¥	\$	¢	£	%	#	&	*	@	☆	★
○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	(	)	[	]	{	}	<	>	《	》	「	」	『
』	【	】	ゝ	ゞ	ゝ	ゞ			…	..	‘	’	“	”	；	+	－	±	×	÷	=	<	>	∞	♂	♀	餃	♪	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	

※記号キーを押した後、上下キーで選択できます。

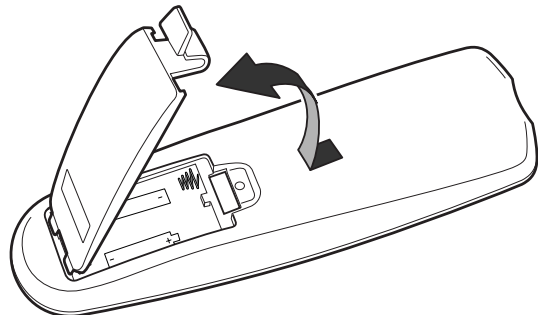
リモコンの使いかた

操作前に必ずお読みください

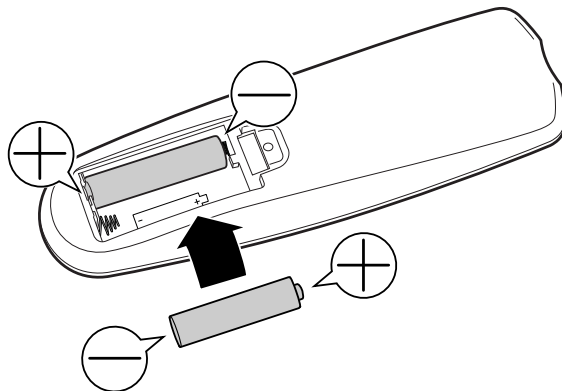
乾電池を入れる

次の手順でリモコンに乾電池を入れてください。

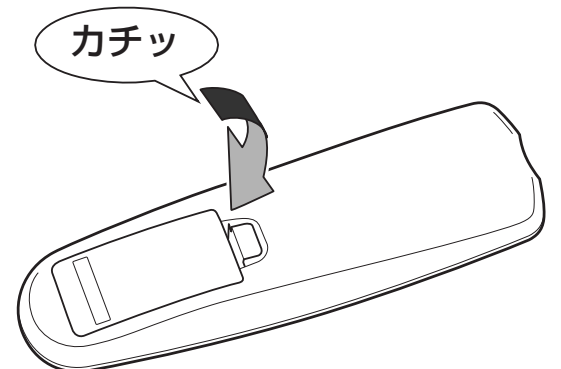
- 1** 背面の乾電池カバーのつまみを引きながら開く



- 2** 単 4 形乾電池を 2 本入れる
※ ⊕ と ⊖ を正しく入れること



- 3** 乾電池カバーを閉める



お願い

- ・乾電池は、単 4 形乾電池をお使いください。
- ・使用済みの乾電池は、自治体の条例に沿って廃棄してください。

警告

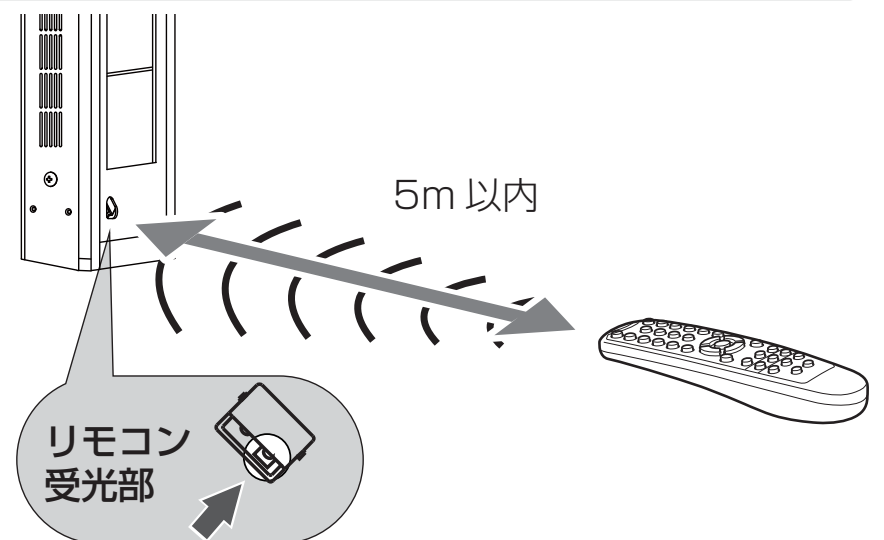
- ・乾電池の液が、目・皮膚・衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがのおそれがあります。
- ・指定外の乾電池を使ったり、新・旧乾電池や種類の違う乾電池を混用しないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

注意

- ・長期間使わないときは、乾電池を取り出してください。液もれの原因になります。

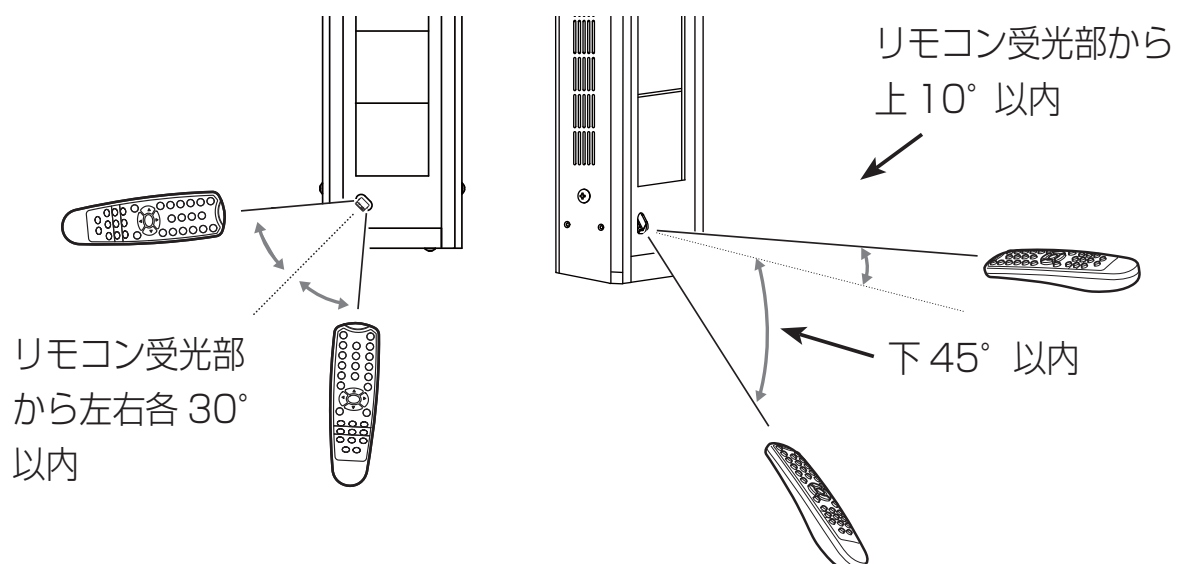
操作するとき

- ・本体のリモコン受光部にリモコンの先端を向けて確実に操作してください。
- ・本体のリモコン受光部に直射日光が当たると、受信感度が鈍くなります。直射日光を避けて操作してください。
- ・リモコン先端部分から本体のリモコン受光部までは、5m 以上離さないでください。



リモコンの取り扱いについて

- ・分解、改造はしないでください。
- ・水などをかけないでください。万一かかってしまったときは、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ・強い衝撃や急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になります。



リモコン操作上の重要事項

◆設定中、リモコンのボタンを押さずに約 5 分以上経つと、設定を終了して通常表示に戻ります。

保存していない設定は無効になります。

ただし、文字入力メニュー中は、5 分以上経過しても通常表示には戻らず、設定を継続できます。

◆設定をやり直すときは、を押して前の画面に戻ります。

前の画面に戻ると設定した内容は破棄されます。また、保存せずに通常表示に戻ったときは、設定を変更した内容は破棄されます。

ただし、次のときは変更した内容が保持されます。

- ・文章を作成／編集するの手順 13（26 ページ）の「保存？」で  を押したとき
- ・イメージの動作パラメータを変更するの手順 10（33 ページ）の「保存？」で  を押したとき

◆テンキー入力操作の補足

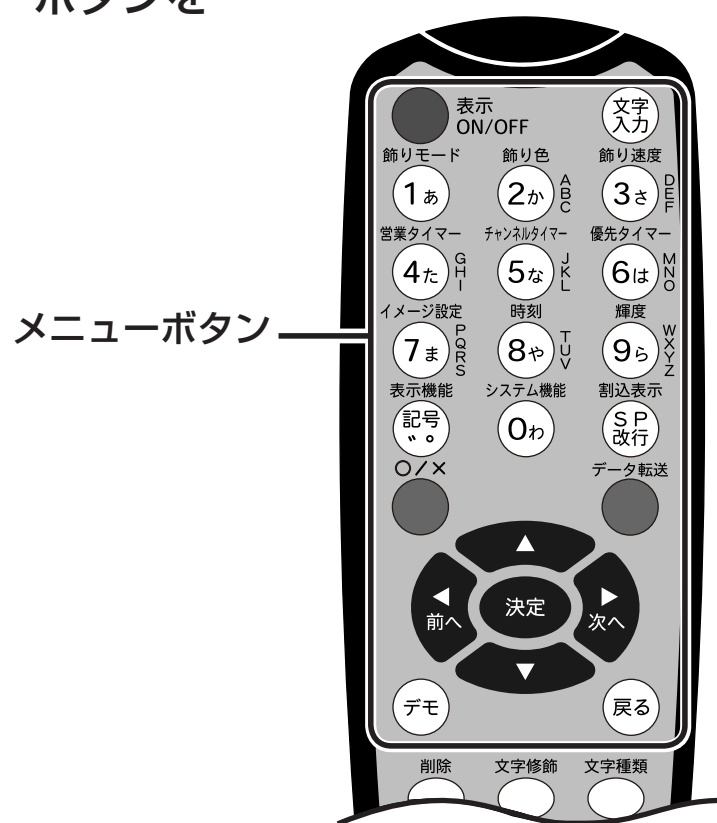
- ・チャンネル選択などの番号を入力する操作において、テンキーで無効な値を入力すると「ニュウリョクハンイ ガイデス」というエラーメッセージが表示されます。その場合は、再度正しい値を入力してください。
- ・1 桁の値（例「5」）を入力するときは「5」、2 桁の値（例「10」）を入力するときは「10」と押します。ただし、「西暦」「月日」「時刻」を入力するときは 2 桁で入力してください。

◆パスワードを設定（52 ページ）したときは、メニューボタンを

押すとパスワードの入力が要求されます。

ボタンを押して入力してください。

約 5 秒間入力がないと通常表示に戻ります。



表示のしくみ

表示データについて

●表示データの種類

表示データには、「文章データ」「イメージデータ」「特殊文字」があります。

データの種類	内容
文章データ	メッセージデータです。 リモコンで直接文章を入力することができます。
イメージデータ※	イラストや絵文字のデータです。 基本的には画面サイズの大きさになりますが、画面サイズを超えるデータを登録することもできます。 複数のイメージデータを使って動画を作成することもできます。
特殊文字※	オリジナルの記号や文字のことで、文章に挿入して使用します。

※イメージデータ・特殊文字は、リモコンで作成できません。必要なときは販売店にお問い合わせください。

●チャンネル

チャンネルとは、文章データやイメージデータなどを登録したものです。

チャンネルの種類	チャンネル番号	内容
オリジナルデータ登録 チャンネル	ch001 ~ 150	オリジナルで作成したデータを登録するチャンネルです。 工場出荷時は、何も登録されていません。
マイル用チャンネル	ch196 ~ 199 ch246 ~ 249	マイル用のチャンネルです。マイル未使用時は、何も表示しません。
スグスマ用チャンネル	ch250	スグスマ用のチャンネルです。

※ ch151、201 には「デジタル時計 “〇〇月〇〇日〇曜日 00：00”」が登録されています。その他のチャンネルは使用できません。

タイマーについて

●営業タイマー

表示機本体の表示時間設定を「営業タイマー」といいます。
全てのチャンネルの表示は営業タイマーの時間内に行われます。（割り込み表示を除く）そのため、営業タイマーの設定時間外になっているときは、チャンネルタイマーおよび優先タイマーを設定しても表示しません。

●チャンネル表示（○／×）

営業タイマーやチャンネルタイマー、優先タイマーに従ってチャンネルを表示するには、チャンネル表示（○／×）を設定する必要があります。

- ・指定したチャンネルを表示させるには、チャンネル表示を「○」にします。（チャンネルタイマーおよび優先タイマーを設定していないチャンネルは営業タイマーに従って表示します。チャンネルタイマーおよび優先タイマーを設定しているチャンネルはそれぞれの設定に従って表示します。）
 - ・指定したチャンネルを表示しないときは、チャンネル表示を「×」にします。
- ※新規で文章を入力したチャンネルは、自動的に「○」に設定されます。

●チャンネルタイマー／優先タイマー

チャンネルに表示時間を設定するには、目的に合わせて「チャンネルタイマー」か「優先タイマー」を設定します。

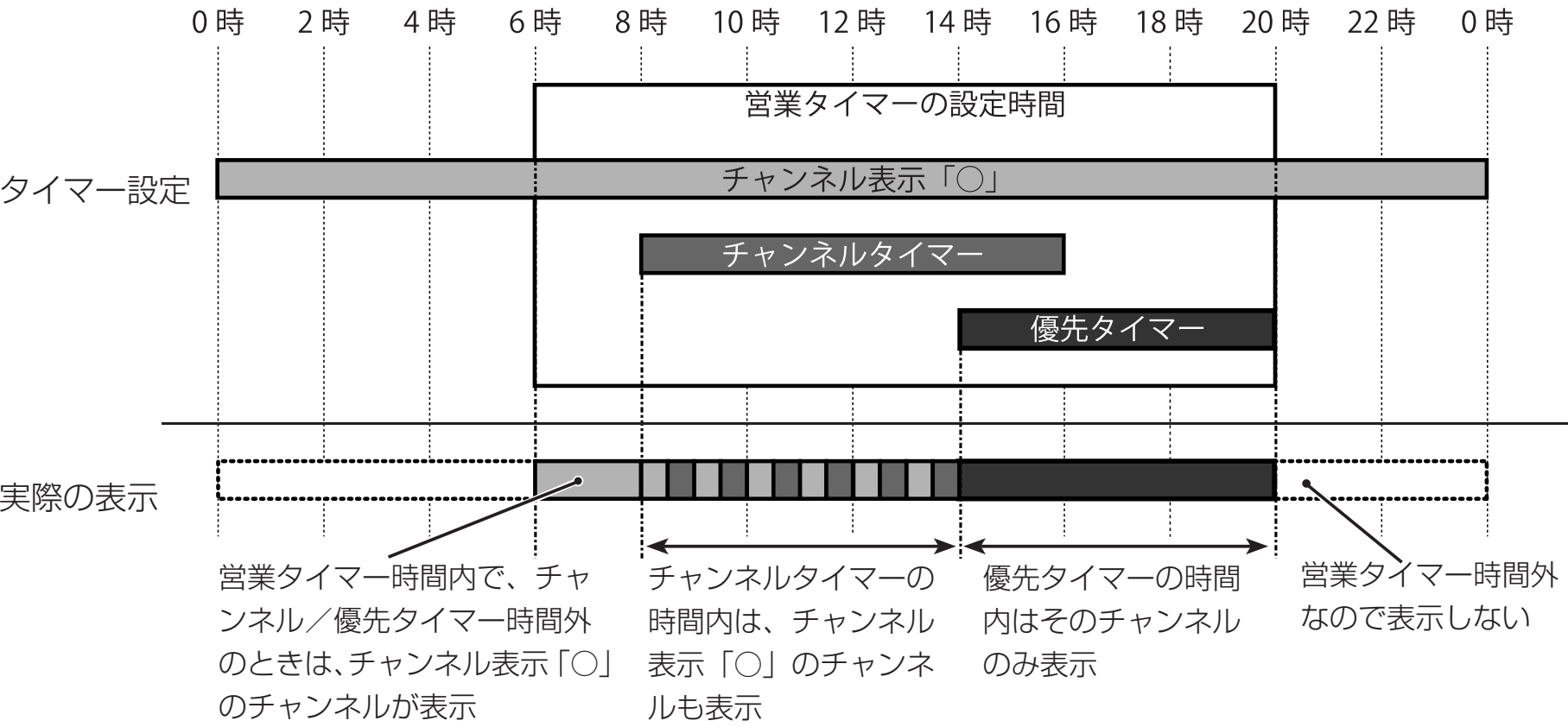
- ・チャンネルを特定の時間に表示させ、かつ他のチャンネルと同時に表示する場合 → 「チャンネルタイマー」
- ・チャンネルを特定の時間に表示させ、かつその時間帯はそのチャンネルのみ表示する場合 → 「優先タイマー」

上記の内容を表にしたものが下の表です。

表示のしかた	チャンネル表示（○／×）の設定	チャンネルタイマーの設定	優先タイマーの設定
営業タイマーにのみ従う*	○	×	×
特定の時間帯に表示して、その時間帯には他のチャンネルも表示する*	○	○	×
特定の時間帯に表示して、その時間帯にはそのチャンネルのみ表示する	○	×	○
チャンネルを表示しない	×	×	×

※チャンネル表示「○」やチャンネルタイマーを設定しても、その他のチャンネルで優先タイマーを設定した場合、その時間帯は優先タイマーを設定したチャンネルしか表示しません。

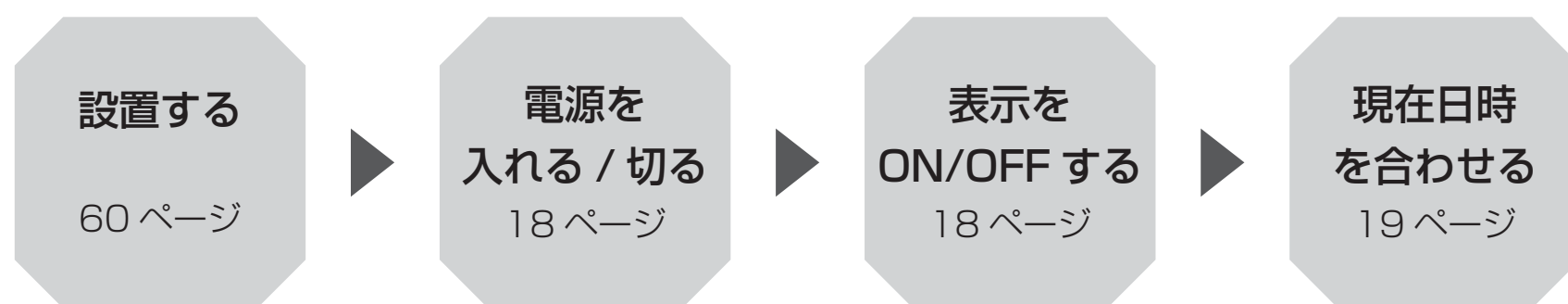
実際の表示は下の図のようになります。



操作の流れ

本機の基本的な操作手順は次の通りです。参照ページをよくお読みのうえ、ご使用に合わせて操作してください。

はじめに ～ 表示機の準備 ～



USB メモリーを使うときは ● ● ●



リモコンで表示データを作成／編集するときは ● ● ●



各種の表示設定を行うときは ● ● ●

割り込み
表示
42 ページ

輝度設定
44 ページ

目標日
設定
47 ページ

表示機全体の設定を行うときは ● ● ●

表示方向
切り替え
51 ページ

パスワード
設定
52 ページ

リセット
54 ページ

初期化
55 ページ

ネットワーク
設定
56 ページ

電源を入れる / 切る・表示を ON/OFF する

電源を入れる / 切る

表示機を正しく設置した後、電源を入れます。

電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む

表示機の状態によって表示内容が変わります。

- ・工場出荷状態では、「デジタル時計」を表示します。
- ・表示機にオリジナルの表示データが登録されているときは、登録内容に合わせて表示します。
- ・表示時間中でも表示するデータがないときは、画面右下の LED が 1 つだけ点灯します（右図参照）。

【表示するデータがない場合】



電源を切る

1 電源プラグをコンセントから抜く

表示を ON/OFF する

電源を入れたまま LED 表示部を OFF（消す）にしたり、ON（表示する）にすることができます。

表示 OFF にする

1 表示 ON/OFF を押す



- ・画面下中央の LED が 2 つだけ点灯します。

表示 ON にする

2 表示 ON/OFF を押す



を押すたびに表示 ON / OFF が切り替わります。



お知らせ

- ・表示 OFF にすると、再度 ON にするまでは営業タイマーの表示開始時刻がきても表示しません。
- ・表示 OFF 中に電源が切れた（停電や電源プラグをコンセントから抜くなど）場合、再度電源が入ったときは表示 ON に戻ります。

現在日時を合わせる

表示機に現在の日付と時刻を設定します。

- ・タイマーはこの日時をもとに動作します。最初にお使いになる前に、必ず現在時刻を合わせてください。
- ・1 カ月に 1 回程度、日時を調節してください。
- ・長期間（約 60 日以上）電源プラグをコンセントから抜いていた後にお使いになるときは、再度設定してください。

●日付や時刻を入力するときは●

- ・日付や時刻が 1 桁のときは、前に「0」をつけて 2 桁で入力してください。
- ・時刻は 24 時間制（00：00 ～ 23：59）で入力してください。
- ・「13 月 30 日」や「25：00」などの実際にはない値を入力した場合、手順 5 で決定キーを押すと「NG」と表示され保存できません。その場合は入力し直してください。
- ・日付や時刻を 1 桁入力した後、戻るキーを押すと 1 桁目の入力がキャンセルされ、入力し直すことができます。

例）現在日時を 2015 年 4 月 1 日 10：00 に設定する



手順 2 ～ 4 では、前へ／次へキーでカーソルを移動できます。カーソルを右へ動かしていくと、手順 2 → 3 → 4 → 2 の順に繰り返し画面が移動します。値を変えないときは、次へキーを押してカーソルを移動してください。

1	時刻 8や TUV を押す	2015 04/01 042015 /01	・操作をやめる→ 戻る
2	テンキーで西暦を入力する 例）2015 年に設定する	2015 04/01 042015 /01	・西暦を入力し終わると、自動的に手順 3 の画面に移ります。
3	テンキーで月日を入力する 例）04 月 01 日に設定する	2015 04/01 042015 /01	・月日を入力し終わると、自動的に手順 4 の画面に移ります。
4	テンキーで時刻を入力する 例）10：00 に設定する	10:00 月 10:00 月0	
5	決定 を押す		・設定を保存した後、通常表示に戻ります。

使用できる USB メモリー /USB メモリーの抜き差し

使用できる USB メモリーおよび USB メモリーの抜き差し方法は以下のとおりです。

使用できる USB メモリー

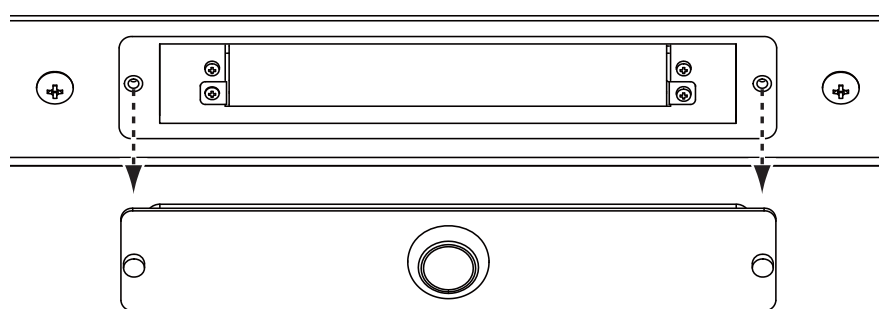
「USB デバイスについてのお知らせ」に記載された仕様の USB メモリーをお使いください。

なお、条件を満たしたすべての USB メモリーの動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

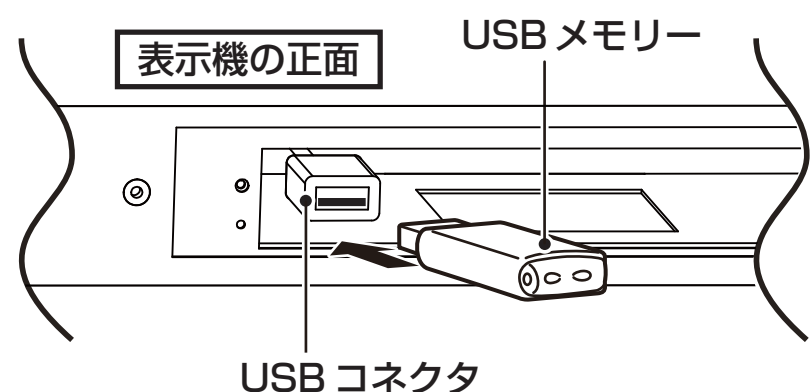
USB メモリーの抜き差し

USB メモリーを差し込む

- 1 I/F カバーのネジを外して、
I/F カバーを取り外す

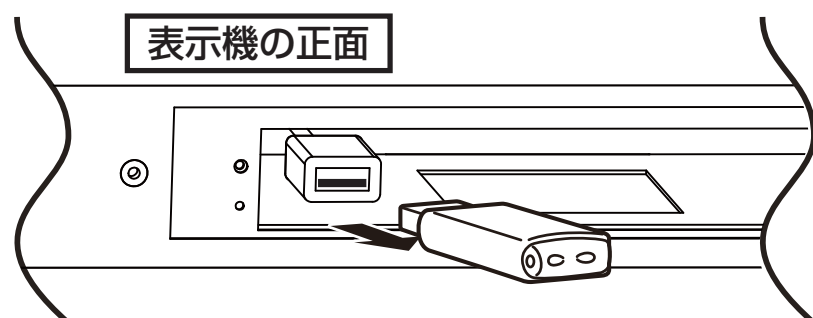


- 2 USB コネクタを持ち、USB メモリーの向きを確認して、最後まで確実に差し込む

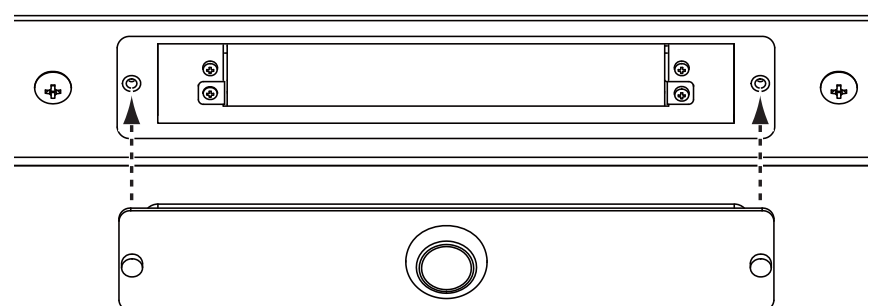


USB メモリーを取り外す

- 1 USB コネクタを持ち、
USB メモリーを取り外す



- 2 USB コネクタを中に入れ、I/F カバーを
閉じてネジを締める



お願い

- ・作業後はすぐに USB メモリーを取り出し、I/F カバーを確実に閉めてください。
- ・雨天での作業は絶対に行わないでください。雨水などが侵入して故障の原因になります。
- ・USB コネクタは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。

USB メモリーからデータを読み込む

USB メモリーから表示データを読み込み、表示機に記憶させます。

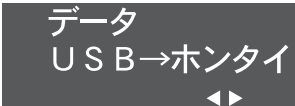
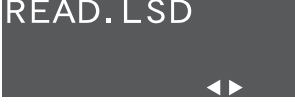
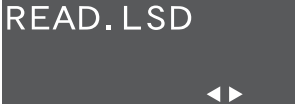
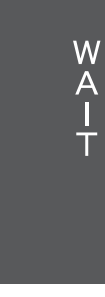
- ・読み込む前に、表示機の設置方向（縦／横）に合わせて表示方向を切り替えてください。（「表示方向切り替え」51 ページ）
- ・表示データを読み込むと、それまで表示機に記憶していたデータに、新しいデータが上書きされます。
- ・読み込み中は USB メモリーを抜いたり電源を切らないでください。

- ・読み込みファイル名選択画面では、半角英数字以外は表示することができません。ファイル名に半角英数字以外を使用した場合、ファイル名は「？」と表示されます。
- ・ファイル名は表示方向に関係なく、いつも横書きで表示されます。
- ・USB メモリー内にある対象ファイルを 20 個まで選択することができます。
- ・USB メモリー内にある表示データはすべて選択対象ファイルとなります。そのため、異なるフォルダに同一ファイル名のものを入れると、選択画面で同じファイル名のものが表示されることがあります。



エラーメッセージ
が出て読み込めな
いときは、「故障か
な？」(66 ページ)
をご覧ください。

メッセージ例)
・USB エラー
・LSD データガ
アリマセン

1	表示機に表示データのあった USB メモリーを差し込む		
2	 データ転送 を押す	 	・操作をやめる→ 
3	 決定 を押す	 	・USB メモリーに保存されているデータのファイル名が表示されます。
4	 前へ / 次へ  を押して、表示データの ファイル名を選ぶ	 	
5	 決定 を押す	    	・読み込みが始まります。 ・ファイルサイズが大きいときは読み込みに時間がかかることがあります。 ・読み込み完了後、新しいデータで通常表示します。
6	USB メモリーを取り外す		

USB メモリーへデータを書き込む

表示機に記憶されているデータを USB メモリーに書き込みます。
・書き込み中は USB メモリーを抜いたり電源を切らないでください。

- ・ USB メモリーに書き込む表示データは「LXXXXXXXXX.LSD」（XX の部分は書き込んだ月日時分）というファイル名で保存されます。（例：4 月 1 日 10 時 30 分に書き込んだ場合、「L04011030.LSD」となります。）
- ・ USB メモリーへ書き込めるデータは、オリジナルデータ登録チャンネル（ch001 ～ 150）の内容だけです。



1 表示機に USB メモリーを差し込む

2	 を押す	データ USB→ホンタイ ◀▶ データ USB→ホンタイ ▶◀	・操作をやめる→ 
3	 /  を押して、 「データ ホンタイ → USB」を選ぶ	データ ホンタイ→USB ◀▶ データ ホンタイ→USB ▶◀	
4	 を押す	WAIT ↓ OK	・書き込みが始まります。 ・書き込み後は通常表示 に戻ります。

5 USB メモリーを取り外す

エラーメッセージ
が出て書き込めない
ときは、「故障か
な？」(66 ページ)
をご覧ください。

メッセージ例)
・ USB エラー

文章を作成／編集する

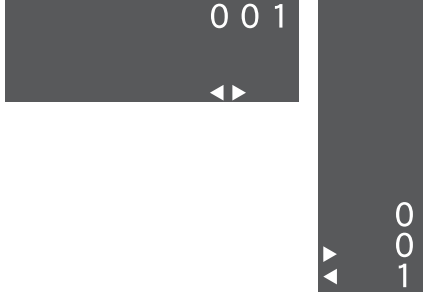
チャンネルに新しい文章を作成します。また、作成した文章を編集します。

・文章の作成／編集ができるチャンネルは、オリジナルデータ登録チャンネル（ch001 ～ 150）です。その他のチャンネル（ch151 ～ 250）では、文章の作成および編集はできません。



手順 2 で削除キーを長押しすると「削除？」と表示されます。決定キーを押すとそのチャンネルの文章およびイメージデータが削除されます。

手順 3 で「モジデータガアリマセン」と表示されるときは、そのチャンネルに文章データ以外のデータが登録されているため、新規作成および編集ができません。別のチャンネルを選択してください。

1	 を押す		・操作をやめる→ 
2	 /  を押して、 作成（編集）する チャンネルを選ぶ		・チャンネル選択範囲 → ch001 ～ 150 ・テンキーでもチャンネル 番号を入力できます。
3	 を押す	[文章入力画面] 	・文章を編集する場合は、 入力済みの文字が表示され ます。
4	文章を入力する		・文章を編集したとき、戻 るキーを押すと「取消？」 と表示されます。変更を 取り消す場合は決定キー、 取り消さない場合は戻る キーを押してください。

- ・文章を入力する前に「入力できる文字の一覧」(11 ページ)、「文字入力の詳細」(27 ページ) をよくお読みください。
- ・入力文字はすべて全角です。半角にする場合は文字修飾(30 ページ)で設定してください。
- ・複雑な文字は字の一部を変形、または省略して表示します。
- ・文字の入力途中では入力モードの変更ができません。入力モードの変更は入力中の文字がない状態で行ってください。

文章を作成／編集する

例)「本日 AM10：00 セール」を入力する

1 「ほんじつ」と入力する

優先タイマー
6は MNO

を5回、

システム機能
0わ

を3回、

飾り速度
3さ DFM

を2回、

表示機能
記号 〃

を1回、

営業タイマー
4た GH

を3回押す

ほんじつ

ほんじつ

2 「本日」に漢字変換する

▼

を押す

変換候補が表示されます。

決定

を押す

本日

本日

本日

あ

あ

3 入力モードを英数字モードに変える

文字種類

を2回押す

本日

本日

英数字モード

4 「AM10：00」と入力する

飾り色
2か ABC

を2回、

優先タイマー
6は MNO

を2回、

飾りモード
1あ

を1回、

システム機能
0わ

を1回、

表示機能
記号 〃

を7回、

システム機能
0わ

を1回、

次へ

を1回、

システム機能
0わ

を1回押し、

決定

を押す

10：00

10：00

0：00

A

0：00

A

5 入力モードをカタカナモードに変える

文字種類

を2回押す

0：00

ア

0：00

ア

6 「セール」と入力する

飾り速度
3さ DFM

を4回、

システム機能
0わ

を6回、

輝度
9ら WXYZ

を3回押し、

決定

を押す

セール

セール

セール

ア

セール

ア

5

決定

を押す

16ドット
ゴシック

16ドット
ゴシック

・文章入力画面に戻る

→

戻る

6



を押して、
フォントを選ぶ

[16 ドットゴシック]

16 × 16 ドットサイズでゴシックで表示します。

16ドット
ゴシック

16ドット
ゴシック

本日AM

本日AM

16 ドットゴシック
のイメージ

[12 ドットゴシック]

12 × 12 ドットサイズでゴシックで表示します。

12ドット
ゴシック

12ドット
ゴシック

本日AM10

本日AM10

12 ドットゴシック
のイメージ

7

決定

を押す

ランニング

01

ランニング

01

8



を押して、
動作モードを選ぶ

ランニング

01

ランニング

01

動作モード番号

・動作モード番号 01 ～ 83

動作モード一覧
→ 64 ページ

・テンキーでも動作モード番号を入力できます。

9

決定

を押す

ソクド
フツウ

ソクド
フツウ

文章を作成／編集する

10	 /  を押して、動作速度を選ぶ	ソクド フツウ ソクド フツウ	・ 5 段階に設定できます。 「遅い」「やや遅い」 「普通」「やや速い」 「速い」
11	 を押す	テイシジカン 0 S テイシジカン 0 S	・ 選択した動作モードによって異なる停止時間が表示されます。
12	 /  を押して、停止時間を選ぶ	テイシジカン 0 S テイシジカン 0 S	・ 0 ～ 999 秒まで設定できます。0 から 1 秒までは 0.1 秒刻みで設定できます。 ・ テンキーでも停止時間を入力できます。(0.1 ～ 0.9 秒はテンキー入力できません)
13	 を押す	本日 A M ↓ 保存？ 保存？	・ 入力した文章を設定した動作パラメータでプレビュー表示します。 ・ 文章内容や動作パラメータを変更する場合は、戻るキーを押してください。文章入力画面に戻ります。
14	 を押す	保存中 保存中	・ 設定を保存した後、通常表示に戻ります。

文字入力の詳細

入力モードを切り替える方法

- 文章入力画面で  を押す（押すたびに、入力モードが切り替わります。）



ひらがなモード
ひらがなと漢字を入力します。



カタカナモード
カタカナを入力します。



英数字モード
数字とアルファベットを入力します。

漢字変換について

- 入力中の文字を漢字変換する：  を押す（ボタンを押すたびに変換候補が切り替わります。）
- 1つ前の変換候補に戻る：  を押す
- 変換する文節の区切りを変える：  /  を押す

カーソルを移動する

- カーソルを移動する：  /  を押す

文字を削除する

- 削除する文字にカーソルを移動させてから、 を押す
- 文章入力中に、 を長押しすると、入力中の内容がすべて削除されます。

文字を挿入する

- 挿入箇所にカーソルを移動させ、挿入する文字を入力した後、 を押す

スペースを入れる

- スペースを入れる箇所にカーソルを移動させ、 を1回押した後、 を押す

文字入力の詳細

改行マーク前の文字を停止表示、後の文字をランニング表示する

・動作モードが「ランニング」のときのみ有効です。

- 1 停止表示する文字を入力する
- 2  を 2 回押し、 を押す
改行マーク  が表示されます。
- 3 ランニング表示する文字を入力する
- 4 16 ドットゴシックを選択する

駐車場

↓

駐車場こちら

改行マーク前の文字は停止表示後、改行マーク後の文字に押し出されます。

改行後の文字はランニング表示します。

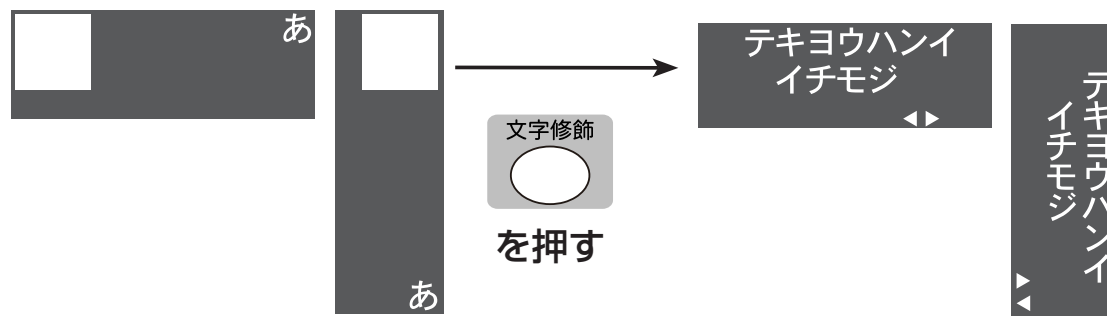
※改行マーク前の文字が停止表示する時間は 2 秒間です。
停止表示できる文字数はフォントによって異なります。

文字を修飾する

1 文章入力画面で を押す

- ・入力中の文字がない状態で押してください。
- ・入力済みの文字の修飾を変えるときは、その文字にカーソルを移動させてから  を押してください。

[文章入力画面]



2 / を押して 設定方法を選ぶ

[入力済みの文字を 修飾する]



[全ての文字を一括で修飾する]

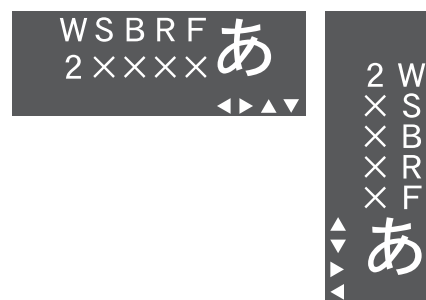


※これから入力する文字の修飾を設定したいときはカーソルを文章の最後に合わせ「テキヨウハンイ イチモジ」を選びます。

3 を押す

文章修飾画面が表示されます。

[文章修飾画面]



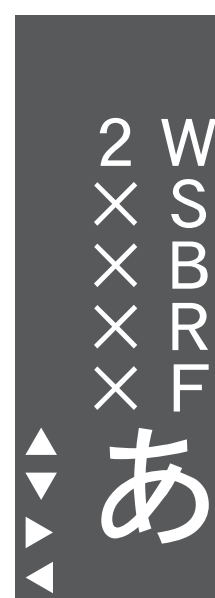
4 / を押して 設定する修飾モードを選ぶ

設定する修飾モードが点滅します。
文字のイメージを表示します。



現在の設定状態を表示します。
「×」は設定なしを表します。

W：文字サイズの設定
S：影の設定
B：太字の設定
R：反転の設定
F：点滅の設定
M：文字色の設定※¹
H：背景色の設定※¹
K：影色の設定※¹



文字のイメージは、
入力した文字に関係
なく「あ」が表示さ
れます。また、設定
フォントは反映され
ません。

※ 1:M (文字色)、H (背景色)、K (影色) は、
8文字1段フルカラー表示機のみ画面
を切り替えて表示します。また、F(点滅)
を設定しても、M、H、K 設定時は「あ」
は点滅しません。

文字入力の詳細

5



を押してそれぞれの修飾モードを選ぶ

[文字サイズ (W) の設定]

2：全角

WSBRFあ

2XXXX

2WSBRFあ

3：倍角

WSBRFあ

3XXXX

3WSBRFあ

1：半角

WSBRFあ

1XXXX

1WSBRFあ

[影 (S) の設定]

×：影なし

WSBRFあ

2XXXX

2WSBRFあ

1：影 1

WSBRFあ

21XXXX

21WSBRFあ

2：影 2

WSBRFあ

22XXXX

22WSBRFあ

[太字 (B) の設定]

×：太字にしない

WSBRFあ

2XXXX

2WSBRFあ

○：太字にする

WSBRFあ

2XOXX

2XWSBRFあ

[反転 (R) の設定]

×：反転しない

WSBRFあ

2XXXX

2WSBRFあ

○：反転する

WSBRFあ

2XXOX

2XXWSBRFあ

[点滅 (F) の設定]

×：点滅なし

WSBRFあ

2XXXX

2WSBRFあ

1：点滅 1(消灯点滅)

WSBRFあ

2XXXX1

2WSBRFあ1

2：点滅 2(点灯点滅)

WSBRFあ

2XXXX2

2WSBRFあ2

※点滅は、動作モードがランニング/バックランニングのときのみ有効です。

※文字色 / 背景色 / 影色は、
下のような色設定になります。

- 0：現在の設定色
- 1：レッド
- 2：グリーン
- 3：ブルー
- 4：イエロー
- 5：マゼンタ
- 6：シアン
- 7：ホワイト
- 8：ブラック（消灯）

文字色 / 背景色 / 影色は 8 文字 1 段フルカラー表示機のみ表示されます。

[文字色 (M) の設定]

現在の設定色



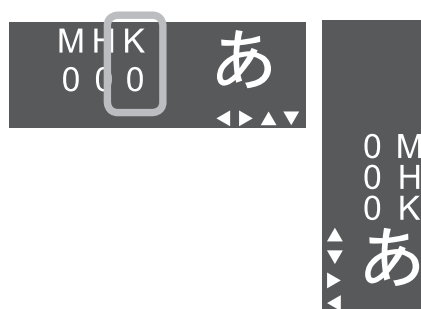
[文字色 (H) の設定]

現在の設定色



[文字色 (K) の設定]

現在の設定色



※ K（影色）は、S（影）を設定した
ときのみ表示されます。

6 設定終了後、

決定 を押す

文字修飾モードの設定が終わり、文章を入力できる状態に戻ります。

イメージの動作パラメータを変更する

チャンネルに登録されているイメージデータの動作パラメータを変更することができます。

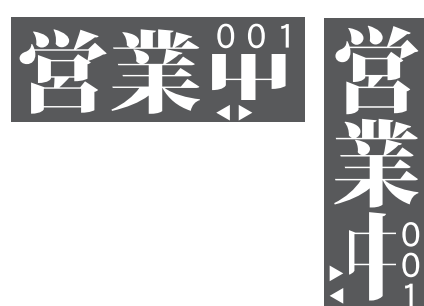
- ・イメージデータの動作パラメータを変更できるチャンネルは、オリジナルデータ登録チャンネル（ch001 ～ 150）です。その他のチャンネル（ch151 ～ 250）ではできません。



手順3で「イメージデータガアリマセン」と表示されるときは、イメージデータが登録されていないため、動作パラメータの変更ができません。また、文章データの動作パラメータを変更するときは文字入力から行ってください。

1  **を押す**

例) チャンネル 1 に「営業中」というイメージデータを登録してある場合



・操作をやめる→

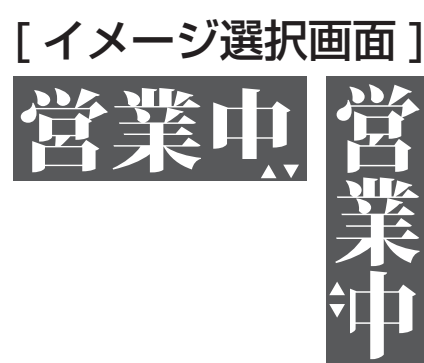


2  / 
を押して、変更するチャンネルを選ぶ



- ・チャンネル選択範囲 → ch001 ～ 150
- ・テンキーでもチャンネル番号を入力できます。

3  **を押す**



- ・イメージが複数登録されている場合は、

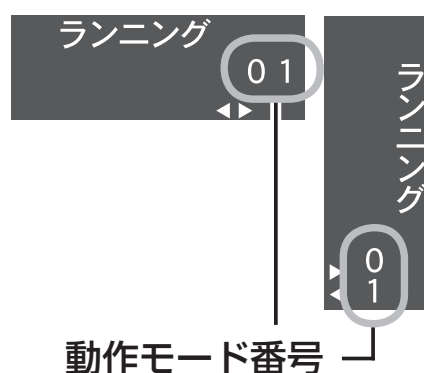
 / 
を押すと、設定するイメージを選択することができます。

4  **を押す**



- ・設定済みの動作モードが表示されます。

5  / 
を押して、動作モードを選ぶ



- ・動作モード番号 01 ～ 77
- 動作モード一覧**
→ 65 ページ
- ・テンキーでも動作モード番号を入力できます。
- ・設定を変更したとき、戻るキーを押すと「取消？」と表示されます。変更を取り消す場合は決定キー、取り消さない場合は戻るキーを押してください。

6	決定を押す	ソクド フツウ	ソクド フツウ	
7	前へ 次へ を押して、動作速度を選ぶ	ソクド フツウ	ソクド フツウ	・5段階に設定できます。 「遅い」「やや遅い」 「普通」「やや速い」 「速い」
8	決定を押す	テイシジカン 0 S	テイシジカン 0 S	・選択した動作モードによって異なる停止時間が表示されます。
9	前へ 次へ を押して、停止時間を選ぶ	テイシジカン 0 S	テイシジカン 0 S	・0～999秒まで設定できます。0から1秒までは0.1秒刻みで設定できます。 ・テンキーでも停止時間を入力できます。(0.1～0.9秒はテンキー入力できません)
10	決定を押す	保存？	保存？	・動作パラメータを修正する場合は、戻るキーを押してください。手順5に戻ります。
11	決定を押す	保存中	保存中	・設定を保存した後、通常表示に戻ります。

営業タイマー

本体の表示時間を設定します。全てのチャンネルの表示は営業タイマーの時間内に行われます。（割り込み表示は除く）そのため、営業タイマーの設定時間外になっているときは、チャンネルタイマーおよび優先タイマーを設定しても表示しません。

・工場出荷時は、営業タイマーは設定されていないため、年中表示（年間を通して一日中表示）になります。

●日付や時刻を入力するときは●

- ・日付や時刻が 1 桁のときは、前に「0」をつけて 2 桁で入力してください。
- ・時刻は 24 時間制（00：00 ～ 23：59）で入力してください。
- ・「13 月 30 日」や「25：00」などの実際にはない値を入力した場合、手順 9 で決定キーを押すと「NG」と表示され保存できません。その場合は、入力し直してください。
- ・日付や時刻を 1 桁入力した後、戻るキーを押すと 1 桁目の入力がキャンセルされ、入力し直すことができます。

例) 営業タイマーを 1 月 1 日～ 12 月 31 日の 10：00～20：00 に設定する



営業タイマーを削除するには手順 2 で○／×キーを押して、営業タイマーを「×」にします。そのとき次の画面を表示しますので、決定キーを押してください。

タイマー
サクジョOK？

タイマー
サクジョOK？

1	営業タイマー 4た GH を押す	エイギョウ タイマー ×	エイギョウ タイマー ×	・操作をやめる→ 戻る
2	○/× を押して、 営業タイマー「○」を選ぶ	エイギョウ タイマー ○	エイギョウ タイマー ○	・年中表示にするときは、「×営業」を選びます。
3	▼ を押す	01／01～ 12／31	12／01 31	・「PC セッテイズミ ヘン シュウ NG」と表示され た場合は、あらかじめパ ソコンで複数のタイマー が設定されているため、 変更できません。（詳し くは販売店にお問い合わせ ください。）
4	テンキーで表示開始 月日を入力する 例) 1 月 1 日に設定する	01／01～ 12／31	12／01 31	・開始月日を入力し終わ ると、自動的に手順 5 の 画面に移ります。
5	テンキーで表示終了 月日を入力する 例) 12 月 31 日に 設定する	01／01～ 12／31	12／01 31	・終了月日時間を入力し終 わると、自動的に手順 6 の画面に移ります。

手順 4 ～ 8 では、前へ／次へキーでカーソルを移動できます。カーソルを右へ動かしていくと、手順 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 4 の順に繰り返し画面が移動します。値を変えないときは、次へキーを押してカーソルを移動してください。

6 テンキーで表示開始
時間を入力する
例) 10 : 00 に設定する

10 : 00 ~
00 : 00

00 : 10 : 00
00 : 00 : 00

・開始時間を入力し終わると、自動的に手順 7 の画面に移ります。

7 テンキーで表示終了
時間を入力する
例) 20 : 00 に設定する

10 : 00 ~
20 : 00

20 : 10 : 00
20 : 00 : 00

・終了時間を入力し終わると、自動的に手順 8 の画面に移ります。

8 を押して、
表示曜日を設定する

日月火水木金土
○○○○○○○

日月火水木金土
○○○○○○○

設定する曜日は



を押して選ぶ

9 を押す

エイギョウ
タイマー ○

エイギョウ
タイマー ○

10 を押す

・設定を保存した後、通常表示に戻ります。

営業タイマーの設定時間外は、画面左下の LED が 1 つだけ点灯します。



チャンネルを表示する

チャンネルを表示させるには以下の設定が必要です。

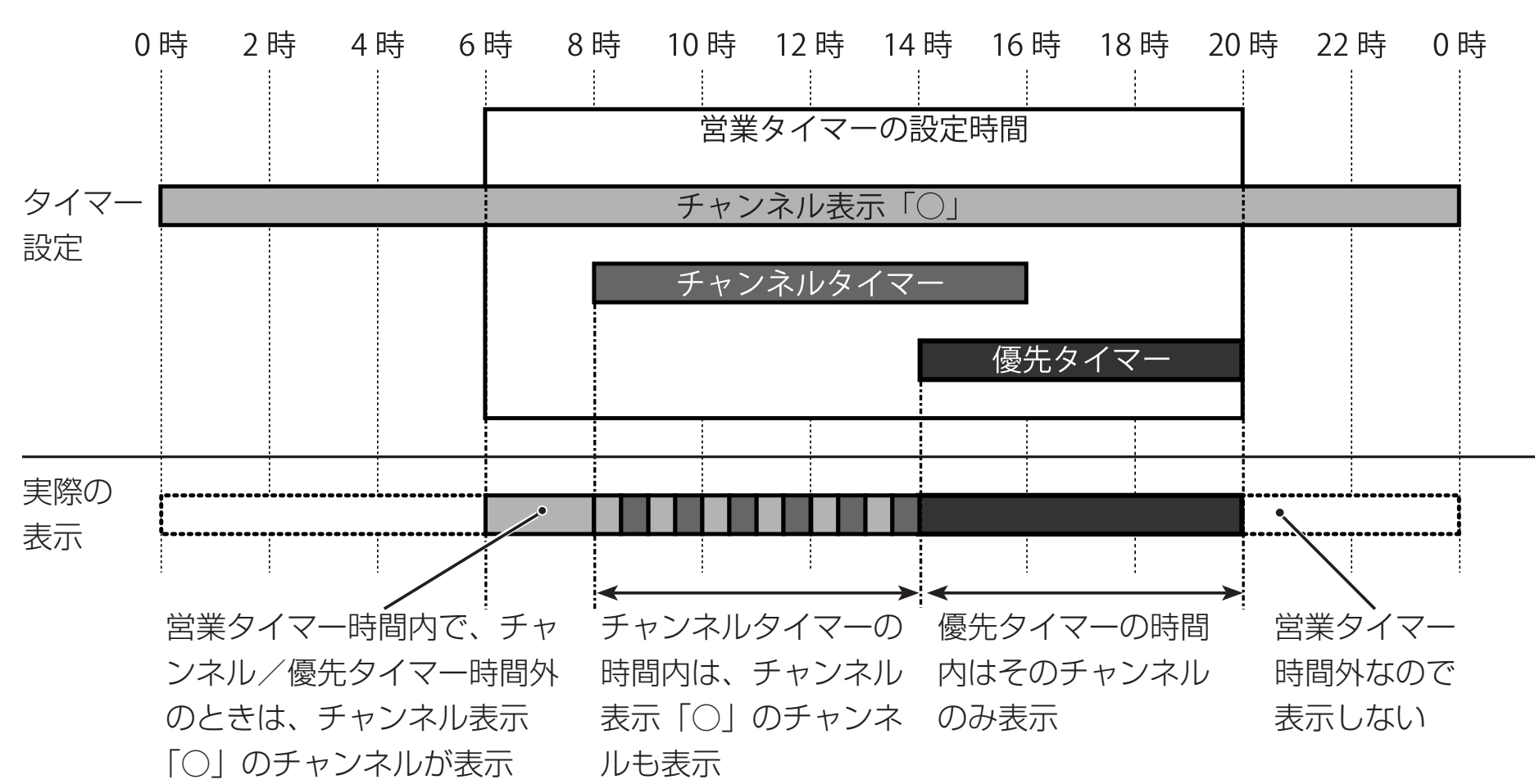
- ・チャンネルを営業タイマーにのみ従って表示させたいときは、チャンネル表示を「○」にします。
- ・チャンネルを特定の時間帯に表示させ、かつ他のチャンネルと同時に表示させたいときは、「チャンネルタイマー」を設定します。
- ・チャンネルを特定の時間帯に表示させ、かつその時間帯はそのチャンネルのみ表示させたいときは、「優先タイマー」を設定します。
- ・表示させたくないチャンネルは、チャンネル表示を「×」にします。

上記の内容を表にしたものが以下の表です。

表示のしかた	チャンネル表示 (○／×) の設定	チャンネルタイマー の設定	優先タイマー の設定
営業タイマーにのみ従う*	○	×	×
特定の時間帯に表示して、その時間帯には他のチャンネルも表示する*	○	○	×
特定の時間帯に表示して、その時間帯にはそのチャンネルのみ表示する	○	×	○
チャンネルを表示しない	×	×	×

※チャンネル表示「○」やチャンネルタイマーを設定しても、その他のチャンネルで優先タイマーを設定した場合、その時間帯は優先タイマー設定チャンネルしか表示しません。

実際の表示は下の図のようになります。



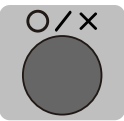
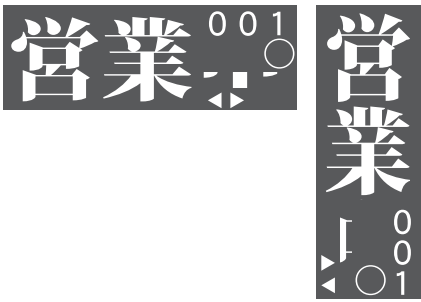
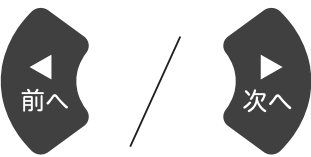
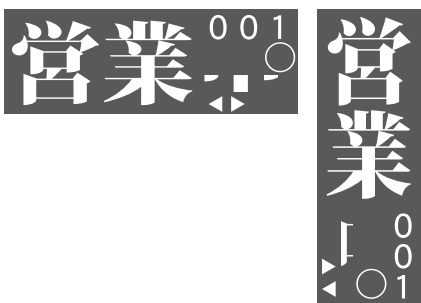
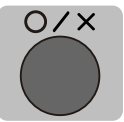
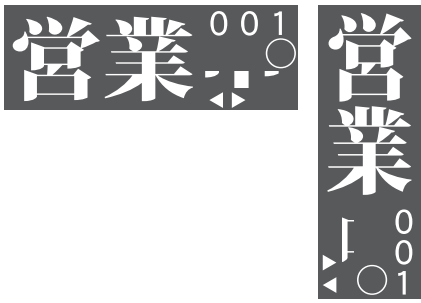
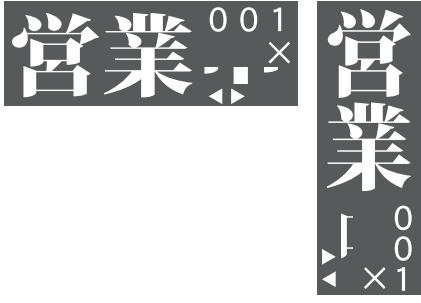
チャンネル表示（○／×）

チャンネル表示○／×の設定をします。

- ・表示させたいチャンネルは必ず「○」に設定してください。
- ・工場出荷時は、チャンネル 151 のみ「○」に設定されています。その他のチャンネルは「×」に設定されていますが、新規で文章を入力したチャンネルは自動的に「○」になります。また、「×」に設定されているチャンネルの内容を変更すると、チャンネル表示は「○」になります。

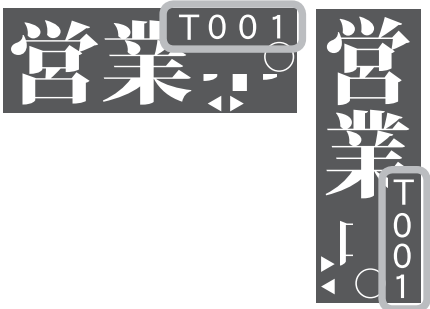


通常表示中に、○／×キーを長押しすると、全チャンネルが「×」になります。

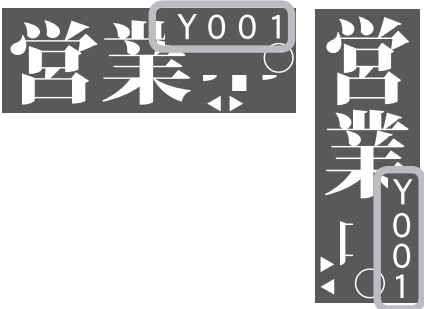
1	 を押す		・操作をやめる→ 
2	 を押して、 設定するチャンネル を選ぶ		・チャンネル選択範囲 → ch001 ~ 250 ・テンキーでもチャンネル 番号を入力できます。
3	 を押して、 ○／×を選ぶ	[チャンネル表示○]  [チャンネル表示×] 	
4	 を押す		・設定を保存した後、通常 表示に戻ります。

チャンネルタイマーおよび優先タイマーを設定しているチャンネルは下記の記号が表示されます。

チャンネルタイマー設定済み



優先タイマー設定済み



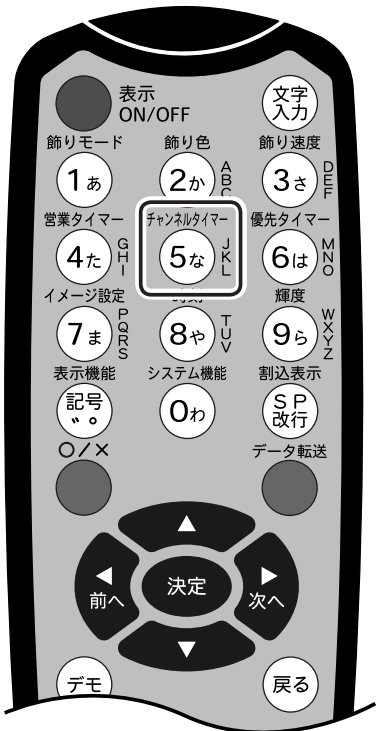
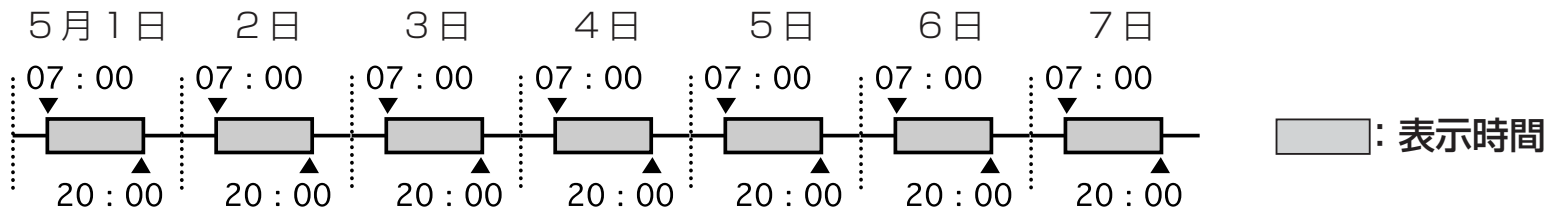
チャンネルタイマー

チャンネルタイマーの設定をします。(チャンネルタイマーの詳細は「チャンネルを表示する」(36 ページ) 参照)

- ・表示させたいチャンネルは必ずチャンネル表示を「○」に設定してください。
- ・設定した期間や時間帯は、「年」に関係なく「月・日・時・分・曜日」で設定されます。一度設定すると毎年表示されますので、翌年以降表示させない場合は、表示後にチャンネル表示を「×」にしてください。

- 日付や時刻を入力するときは●
- ・日付や時刻が 1 桁のときは、前に「0」をつけて 2 桁で入力してください。
 - ・時刻は 24 時間制 (00 : 00 ~ 23 : 59) で入力してください。
 - ・「13 月 30 日」や「25 : 00」などの実際にはない値を入力した場合、手順 10 で決定キーを押すと「NG」と表示され保存できません。その場合は、入力し直してください。
 - ・日付や時刻を 1 桁入力した後、戻るキーを押すと 1 桁目の入力がキャンセルされ、入力し直すことができます。

例) 5 月 1 日 ~ 7 日の間、毎日 7 : 00 ~ 20 : 00 に表示する



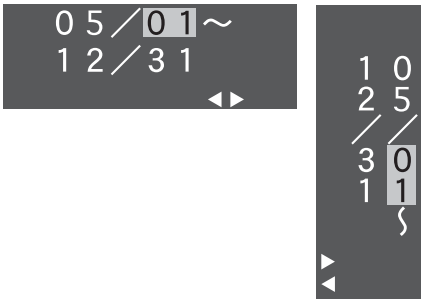
1	チャンネルタイマー 5 を押す	チャンネルタイマ CH001 ×	チャンネルタイマ CH001 ×	操作をやめる → 戻る
2	前へ / 次へ を押して、設定するチャンネルを選ぶ	チャンネルタイマ CH001 ×	チャンネルタイマ CH001 ×	・チャンネル選択範囲 → ch001 ~ 250 ・テンキーでもチャンネル番号を入力できます。
3	O/X を押して、チャンネルタイマー「○」を選ぶ	[チャンネルタイマー○] チャンネルタイマ CH001 ○	チャンネルタイマ CH001 ○	・「トウロクデータガアリマセン」と表示された場合は、そのチャンネルにはデータが登録されていません。チャンネルを確認してください。
4	決定 を押す	01 / 01 ~ 12 / 31	01 / 01 ~ 12 / 31	・「PC セッテイズミ ヘンシュウ NG」と表示された場合は、あらかじめパソコンで複数のタイマーが設定されているため、変更できません。(詳しくは販売店にお問い合わせください。)

チャンネルタイマーを削除するには手順 3 で O / X キーを押して、チャンネルタイマーを「×」にします。そのとき次の画面を表示しますので、決定キーを押してください。

タイマーサクジョ OK? タイマーサクジョ OK?

手順 5 ～ 9 では、前へ／次へキーでカーソルを移動できます。カーソルを右へ動かしていくと、手順 5 → 6 → 7 → 8 → 9 → 5 の順に繰り返し画面が移動します。値を変えないときは、次へキーを押してカーソルを移動してください。

5 テンキーで表示開始
月日を入力する
例) 5 月 1 日に設定する



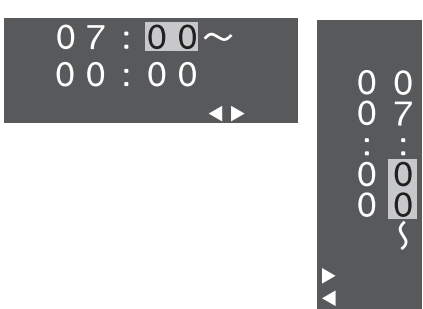
・開始月日を入力し終わると、自動的に手順 6 の画面に移ります。

6 テンキーで表示終了
月日を入力する
例) 5 月 7 日に設定する



・終了月日を入力し終わると、自動的に手順 7 の画面に移ります。

7 テンキーで表示開始
時間を入力する
例) 7 : 00 に設定する



・開始時間を入力し終わると、自動的に手順 8 の画面に移ります。

8 テンキーで表示終了
時間を入力する
例) 20 : 00 に設定する



・終了時間を入力し終わると、自動的に手順 9 の画面に移ります。

9  を押して、
表示曜日を設定する

設定する曜日は
 前へ / 次へ 
を押して選ぶ



10  を押す



11  を押す

・設定を保存した後、通常表示に戻ります。

優先タイマー

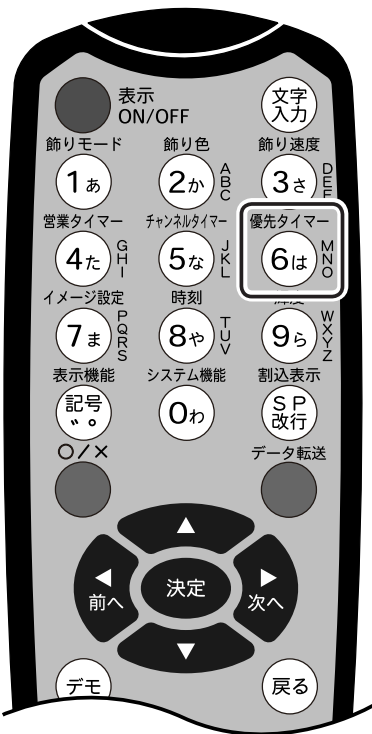
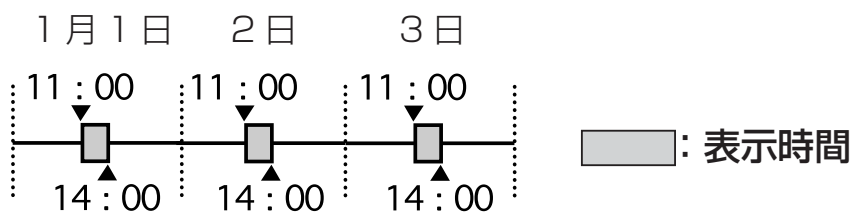
優先タイマーの設定をします。(優先タイマーの詳細は「チャンネルを表示する」(36 ページ) 参照)

- ・表示させたいチャンネルは必ずチャンネル表示を「○」に設定してください。
- ・設定した期間や時間帯は、「年」に関係なく「月・日・時・分・曜日」で設定されます。一度設定すると毎年表示されますので、翌年以降表示させない場合は、表示後にチャンネル表示を「×」にしてください。

●日付や時刻を入力するときは●

- ・日付や時刻が 1 桁のときは、前に「0」をつけて 2 桁で入力してください。
- ・時刻は 24 時間制 (00 : 00 ~ 23 : 59) で入力してください。
- ・「13 月 30 日」や「25 : 00」などの実際にはない値を入力した場合、手順 10 で決定キーを押すと「NG」と表示され保存できません。その場合は、入力し直してください。
- ・日付や時刻を 1 桁入力した後、戻るキーを押すと 1 桁目の入力がキャンセルされ、入力し直すことができます。

例) 1 月 1 日 ~ 3 日の間、毎日 11 : 00 ~ 14 : 00 に表示する



1 優先タイマー 6は MNO を押す

ユウセンタイマー CH001 ×

ユウセンタイマー CH001 ×

操作をやめる →

戻る

2 前へ / 次へ を押して、設定するチャンネルを選ぶ

ユウセンタイマー CH001 ×

ユウセンタイマー CH001 ×

- ・チャンネル選択範囲 → ch001 ~ 250
- ・テンキーでもチャンネル番号を入力できます。

3 O/X を押して、優先タイマー「●」を選ぶ

[優先タイマー●]

ユウセンタイマー CH001 ●

ユウセンタイマー CH001 ●

- ・「トウロクデータガアリマセン」と表示された場合は、そのチャンネルにはデータが登録されていません。チャンネルを確認してください。

4 決定 を押す

01 / 01 ~ 12 / 31

12 / 01 / 31

- ・「PC セッテイズミ ヘンシュウ NG」と表示された場合は、あらかじめパソコンで複数のタイマーが設定されているため、変更できません。(詳しくは販売店にお問い合わせください。)

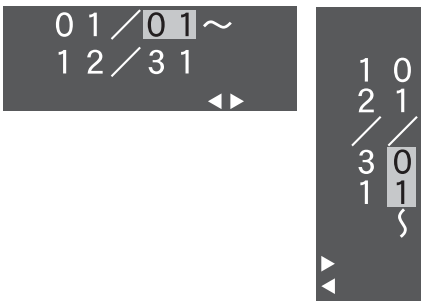
優先タイマーを削除するには手順 3 で O/X キーを押して、優先タイマーを「×」にします。そのとき次の画面を表示しますので、決定キーを押してください。

タイマーサクジョ OK?

タイマーサクジョ OK?

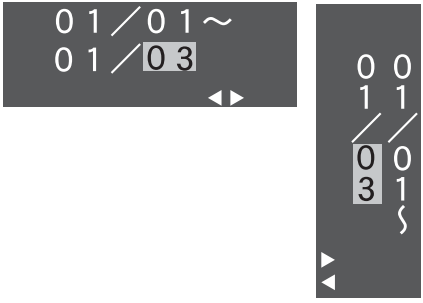
手順 5 ～ 9 では、前へ／次へキーでカーソルを移動できます。カーソルを右へ動かしていくと、手順 5 → 6 → 7 → 8 → 9 → 5 の順に繰り返し画面が移動します。値を変えないときは、次へキーを押してカーソルを移動してください。

5 テンキーで表示開始
月日を入力する
例) 1 月 1 日に設定する



・開始月日を入力し終わると、自動的に手順 6 の画面に移ります。

6 テンキーで表示終了
月日を入力する
例) 1 月 3 日に設定する



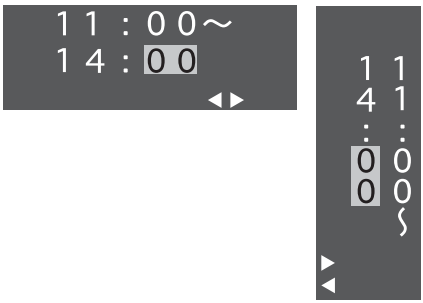
・終了月日を入力し終わると、自動的に手順 7 の画面に移ります。

7 テンキーで表示開始
時間を入力する
例) 11 : 00 に設定する



・開始時間を入力し終わると、自動的に手順 8 の画面に移ります。

8 テンキーで表示終了
時間を入力する
例) 14 : 00 に設定する



・終了時間を入力し終わると、自動的に手順 9 の画面に移ります。

9  を押して、
表示曜日を設定する
設定する曜日は
 前へ / 次へ 
を押して選ぶ



10  を押す



11  を押す

・設定を保存した後、通常表示に戻ります。

割り込み表示

表示を一時中断し、指定したチャンネルを割り込ませて表示します。一時的にあるチャンネルを表示させたいときにご利用ください。

・表示機の電源を切ると割り込み表示は解除されます。ただし、表示 ON/OFF ボタンでは解除されません。



割り込み表示を解除するには、割り込み表示中に戻るキーを押します。

1	割り込み表示 SP 改行 を押す	ワリコミ CH001 ワリコミ CH001	・操作をやめる→ 戻る
2	前へ / 次へ を押して、 割り込み表示する チャンネルを選ぶ	ワリコミ CH001 ワリコミ CH001	・チャンネル選択範囲 → ch001 ~ 250 ・テンキーでもチャンネル 番号を入力できます。
3	決定 を押す	ワリコミカイジョ レンゾク ワリコミカイジョ レンゾク	・「トウロクデータガアリ マセン」と表示された チャンネルにはデータが 登録されていません。 チャンネルを確認してく ださい。
4	前へ / 次へ を押して、 割り込み解除種類を 選ぶ	[解除するまで表示] ワリコミカイジョ レンゾク ワリコミカイジョ レンゾク [時間を設定して表示] ワリコミカイジョ ジカン 1フン ワリコミカイジョ 1フン [回数を設定して表示] ワリコミカイジョ カイスウ 1カイ ワリコミカイジョ 1カイ	

5 割り込み解除方法「レンゾク」を選んだときは
➡ 手順 7 に進む

割り込み解除方法「ジカン／カイスウ」を選んだときは
➡ 手順 6 に進む

6  / 
を押して、割り込み
表示する時間および
回数を選ぶ

[時間を設定して表示]
1 ～ 60 分まで 1 分刻み
で設定できます。

ワリコミカイジョ
ジカン 1 フン
◀▶▶▶

ジカン
ワリコミカイジョ
1 フン
▶▶▶▶

・テンキーでも時間を入力
できます。

[回数を設定して表示]
1 ～ 99 回まで 1 回刻み
で設定できます。

ワリコミカイジョ
カイスウ 1 カイ
◀▶▶▶

カイスウ
ワリコミカイジョ
1 カイ
▶▶▶▶

・テンキーでも回数を入力
できます。

7  を押す

・設定を保存した後、割り
込み表示がはじまります。

輝度設定

表示部の輝度を調整します。

- ・工場出荷時、表示部の輝度は自動 100%に設定されています。



1  を押す

ヒョウジ キド
ジドウ 100%
◀▶▶▶

ヒョウジ
ジドウ 100%
◀▶▶▶

・操作をやめる→ 

2  / 
を押して、
表示輝度の輝度タイプ
「自動／固定」を選ぶ

【 輝度を自動調整する 】
周囲の明るさに応じて、
表示面の明暗を自動調整
します。

ヒョウジ キド
ジドウ 100%
◀▶▶▶

ヒョウジ
ジドウ 100%
◀▶▶▶

・選択中の輝度で表示部
が点灯するので、明る
さを確認しながら選べ
ます。

※自動調整を選択した場
合、輝度は3段階で変
化します。例えば、自
動 100%に設定した
ときは、以下のよう
になります。

【 輝度を固定する 】
周囲の明るさに関係なく、
指定した輝度で表示面を
点灯します。

ヒョウジ キド
コテイ 100%
◀▶▶▶

ヒョウジ
コテイ 100%
◀▶▶▶

周囲の明るさ	点灯輝度
明るい	100%
中間	50%
暗い	25%

3  / 
を押して、
表示輝度の値を
設定する

【 表示輝度の値 】
次の輝度値から選びます。
「1.5」「3」「6」「12」「25」
「50」「75」「100」

※自動の 25%以下を選
択した場合は自動調整
を行わず、固定に設定
した場合と同じ輝度
になります。

4  を押す

・設定を保存した後、通常
表示に戻ります。

チャンネルプログラム

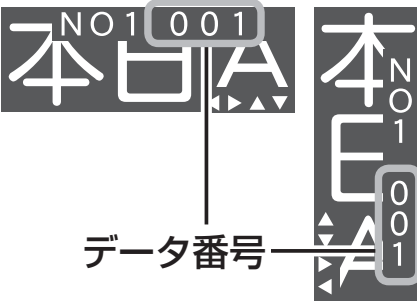
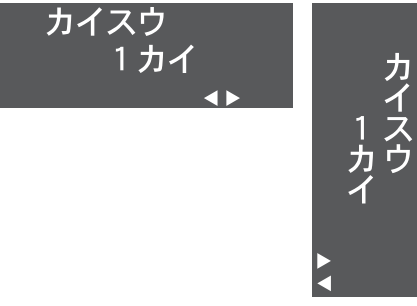
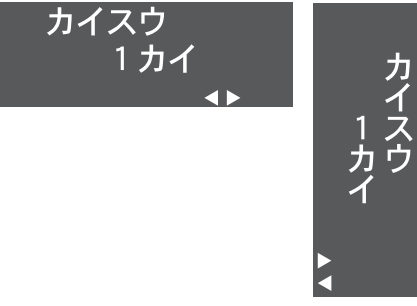
チャンネルプログラムを設定します。

・チャンネルプログラムとは、チャンネルの表示順番を変更する機能です。



1	表示機能 記号 を押す	セッテン ニュウリョク	セッテン ニュウリョク	・操作をやめる→ 戻る
2	前へ / 次へ を押して、 「チャンネルプログラム」 を選ぶ	チャンネル プログラム	チャンネル プログラム	
3	決定 を押す	プログラム CH001	プログラム CH001	
4	前へ / 次へ を押して、 設定するチャンネルを 選ぶ	プログラム CH001	プログラム CH001	・チャンネル選択範囲 → ch001 ~ 150 ・テンキーでもチャンネル 番号を入力できます。
5	決定 を押す	NO1 001 本日A	NO1 001 本日A	
6	前へ / 次へ を押して、 登録 No を選ぶ	[登録 No 選択] NO1 001 本日A No1 ~ No8 まで選べます。	NO1 001 本日A	・1 つのチャンネルに 8 つのデータが登録でき ます。(No1 ~ No8 に 1 つずつ登録する)

チャンネルプログラム

7  /  を押して、 登録するデータを選ぶ		・テンキーでもデータ番号 を入力できます。
8  を押す		
9  /  を押して、 チャンネルを表示する 回数を設定する	[表示回数設定] 0 ~ 99 回まで選べます。 	・0 回を設定するとその チャンネルは表示され ません。(チャンネル表 示が「×」になります) ・テンキーでも表示回数を 入力できます。
10  を押す		・設定を保存した後、通常 表示に戻ります。

目標日設定

残日や経過日を表示するための目標日を設定します。残日表示や経過日表示はマクロ設定を使用することにより表示することができます。

- ・マクロ設定は文字入力で作成することができます。設定内容は下の表をご覧ください。
- ・時刻設定が正しく設定されていないと、正しい残日表示および経過日表示ができません。お使いになるときは現在日時を合わせてください。
- ・工場出荷時、目標日は「2000 年 1 月 1 日 時刻指定なし」に設定されています。

表示の種類	マクロ設定	入力例（文字入力で作成）	表示例
残日表示 1 （日付のみ表示）	#ZAN1	イベント開催まであと #ZAN1	イベント開催まであと 13 日
残日表示 2 （日付と時間を表示）	#ZAN2	新年まであと #ZAN2 です	新年まであと 28 日と 12 時間 50 分 0 秒です
経過日表示 （日付のみ表示）	#PASS	大会第 #PASS 目です	大会第 2 日目です

※残日表示 2 を使用する場合、目標日設定に時刻指定をしないと時刻は表示されません。また、残日が 1 日を超えると時刻のみが表示されます。

※残日や経過日が「0 日」の場合、その文章は表示されません。



1

表示機能
記号

を押す

セッテン
ニュウリョク

セッテン
ニュウリョク

操作をやめる→
戻る

2

前へ / 次へ

を押して、
「目標日設定」を選ぶ

モクヒョウビ
セッテイ

モクヒョウビ
セッテイ

3

決定

を押す

2000
01 / 01

012000
/01

4

テンキーで目標年を入力する
例) 2016 年に設定する

2016
01 / 01

012016
/01

西暦を入力し終わると、
自動的に手順 5 の画面
に移ります。

目標日設定

5 テンキーで目標月日
 を入力する
 例) 1 月 1 日に設定する

2016
01/01

012016
01

・ 月日を入力し終わると、
 自動的に手順 6 の画面
 に移ります。

6  / 
 を押して、
 時刻指定のあり／なし
 を選ぶ

[時刻指定なし]

ジコク
シテイナシ

ジコク
シテイナシ

[時刻指定あり]

ジコク
00:00

ジコク
00:00

7 「時刻指定なし」を選んだときは
 ➡ 手順 9 に進む

 「時刻指定あり」選んだときは
 ➡ 手順 8 に進む

8 テンキーで目標時刻を
 を入力する
 例) 00 : 00 に設定する

ジコク
00:00

ジコク
00:00

9  を押す

・ 設定を保存した後、通常
 表示に戻ります。

お知らせ

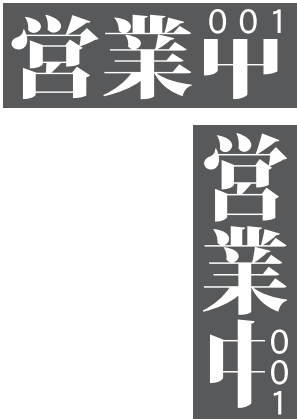
目標日を設定しただけでは、残日表示および経過日表示を表示することはできません。必ず、文字入力でマクロ設定を入力してください。

チャンネル番号表示

現在表示しているチャンネルのチャンネル番号を画面の隅に表示します。
・チャンネル番号表示は確認用の機能なので「ON」に設定しても、電源を切ると「OFF」に戻ります。



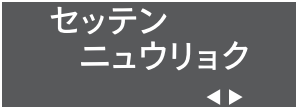
チャンネル番号表示中は下の画面ようになります。



1



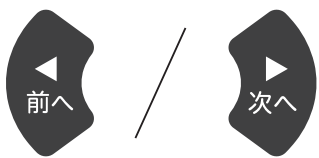
を押す



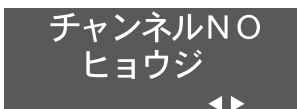
・操作をやめる→



2



を押して、
「チャンネル No 表示」
を選ぶ



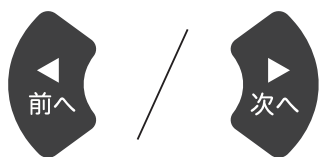
3



を押す



4



を押して、
チャンネル番号表示の
「ON / OFF」を選ぶ

[チャンネル番号表示 ON]



[チャンネル番号表示 OFF]



5

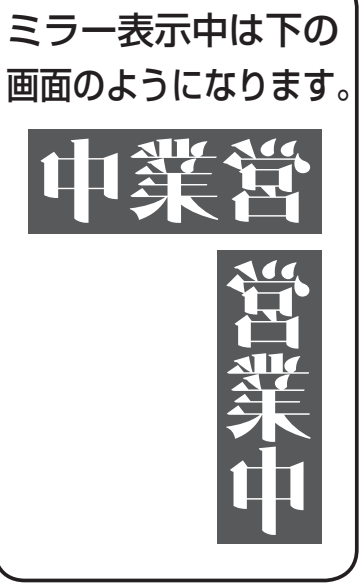


を押す

・設定を保存した後、通常表示に戻ります。

ミラー設定

ミラー設定とは表示部の表示を全て鏡文字にする設定です。
・ミラー設定は確認用の機能なので「ON」に設定しても、電源を切ると「OFF」に戻ります。



1	表示機能 記号 〰 を押す	セッテン ニュウリョク ◀▶ セッテン ニュウリョク ▶◀ ・操作をやめる→ 戻る
2	◀ 前へ / 次へ ▶ を押して、 「ミラー設定」を選ぶ	ミラー セッテイ ◀▶ ミラー セッテイ ▶◀
3	決定 を押す	ミラー OFF ◀▶ ミラー OFF ▶◀
4	◀ 前へ / 次へ ▶ を押して、 ミラー設定の 「ON / OFF」を選ぶ	[ミラー設定 ON] ミラー ON ◀▶ ミラー ON ▶◀ [ミラー設定 OFF] ミラー OFF ◀▶ ミラー OFF ▶◀
5	決定 を押す	・設定を保存した後、通常 表示に戻ります。

表示方向切り替え

表示機の表示方向を切り替えます。

- ・工場出荷時、表示方向は「横」に設定されています。
- ・表示方向を切り替えると、チャンネル 151 ～ 250 のチャンネル表示（○／×）設定は、すべて「×」に変わります。



1	システム機能 0わ を押す	ヒョウジ ホウコウ ヒョウジ ホウコウ	操作をやめる→ 戻る
2	決定 を押す	ヒョウジホウコウ ヨコ ヒョウジホウコウ タテ	
3	前へ / 次へ を押して、 設置方向に合わせて 表示方向を選ぶ	[表示方向 縦] ヒョウジホウコウ タテ ヒョウジホウコウ タテ [表示方向 横] ヒョウジホウコウ ヨコ ヒョウジホウコウ ヨコ	
4	決定 を押す		設定を保存した後、通常 表示に戻ります。

お願い

表示方向を切り替えた場合、表示内容を確認してください。異なる表示方向のデータを使用すると正しく表示されないことがあります。

パスワード設定

パスワードを設定します。一度設定したパスワードを変更するときも同様の操作を行います。

- ・工場出荷時、パスワードは設定されていません。
- ・パスワードを設定すると、リモコン操作時にパスワードの入力が要求されます。いたずら防止のほか、表示機が複数台設置されているときでも個別にリモコン操作をすることができます。



パスワードを解除するときは、手順 4 で「パスワード ナシ」を選びます。

1	システム機能 0わ を押す	ヒョウジ ホウコウ	ヒョウジ ホウコウ	操作をやめる→ 戻る
2	前へ / 次へ を押して、 「パスワード」を選ぶ	パスワード	パスワード	
3	決定 を押す	パスワード ナシ	パスワード ナシ	すでにパスワードが設定されているときは、「パスワード アリ」と表示されます。パスワードを変更するときはそのまま手順 5 へ進んでください。
4	前へ / 次へ を押して、 「パスワード アリ」を選ぶ	パスワード アリ	パスワード アリ	
5	決定 を押す	ニュウリョク 1 0 0 0 0	ニュウリョク 1 0 0 0 0	

手順 8 で、パスワード入力を間違えるとエラーメッセージ「パスワードガチガイマス」が表示されます。そのときは、手順 6 からやり直してください。

6	テンキーでパスワード (任意の数字 4 桁) を入力する 例) 1234 と入力する	ニュウリョク 1 1 2 3 4	ニュウリョク 1 1 2 3 4
7	決定 を押す 再入力画面に移ります。	ニュウリョク 2 0 0 0 0	ニュウリョク 2 0 0 0 0
8	手順 6 で入力した パスワードを 再入力する	ニュウリョク 2 1 2 3 4	ニュウリョク 2 1 2 3 4
9	決定 を押す		・設定を保存した後、通常 表示に戻ります。

お知らせ

パスワードを忘れた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

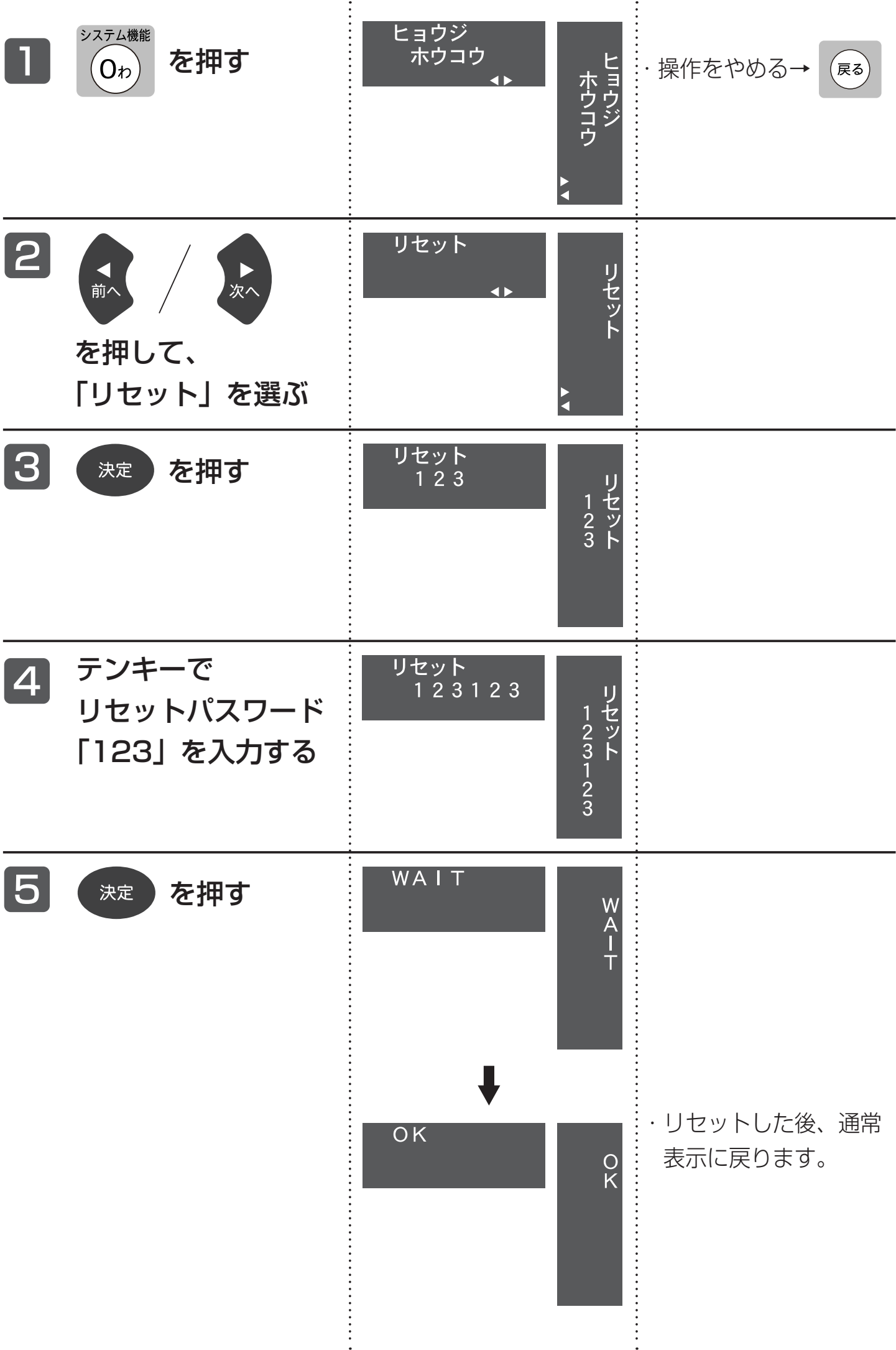
リセット

表示機の設定をリセットします。リセットされる項目は以下のとおりです。

- ・営業タイマー、チャンネルタイマー、優先タイマー、輝度設定、目標日設定、パスワード、チャンネル番号表示、ミラー設定の内容が工場出荷時の設定に戻ります。



手順 4 で、パスワード入力を間違えるとエラーメッセージ「NG」が表示され、通常表示に戻ります。その場合は、手順 1 からやり直してください。



初期化

表示機の設定を初期化します。設定は工場出荷時に戻ります。

- ・ 現在日時の設定、ネットワーク設定、スグスマ / マイトル設定の内容は初期化されません。



手順 4 で、パスワード入力を間違えるとエラーメッセージ「NG」が表示され、通常表示に戻ります。その場合は、手順 1 からやり直してください。

1	システム機能 0わ を押す	ヒョウジ ホウコウ	ヒョウジ ホウコウ	・ 操作をやめる → 戻る
2	前へ / 次へ を押して、 「初期化」を選ぶ	ショキカ	ショキカ	
3	決定 を押す	ショキカ 4 5 6	ショキカ 4 5 6	
4	テンキーで 初期化パスワード 「456」を入力する	ショキカ 4 5 6 4 5 6	ショキカ 4 5 6 4 5 6	
5	決定 を押す	WAIT	WAIT	
		↓	OK	・ 初期化した後、通常表示に戻ります。 ・ 初期化後は、「デジタル時計」が表示されます。

ネットワーク設定

パソコン（専用アプリケーション：Ledit）と本体を LAN 接続して、表示データの更新をすることができます。
LAN 接続するためには、次ページからのネットワーク設定をする必要があります。

- ・ LAN 接続で表示データの更新をする場合は、Ledit が必要です。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ・ スグスマやマイルルをご使用の場合は、環境に合わせた設定が必要です。

LAN 接続に必要な機器

LAN 接続での表示データの更新を行うためには以下の機器が必要です。

必要機器	内容
パソコン	LAN 接続ができるものをご用意ください。 詳しくは Ledit の取扱説明書をご覧ください。
Ledit	LAN 接続で表示データを更新するための専用アプリケーションです。
無線 LAN ルータ または 有線 LAN ケーブル	表示機とパソコンを無線 LAN または有線 LAN で接続するために必要な機器です。 詳しくは同梱の「USB デバイスについてのお知らせ」をご覧ください。

お願い

- ・ 作業後は、I/F カバーを確実に閉めてください。
- ・ 雨天での作業は絶対に行わないでください。雨水などが侵入して故障の原因になります。

ネットワーク設定の種類と概要

以下の設定は、パソコンや LAN 接続に必要な機器の説明書をお読みになり、お使いの環境に合わせて設定してください。

設定の種類	内容
IP アドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ	IP アドレスとサブネットマスクは、ネットワーク上にある通信機器（本書の場合、パソコンと表示機）を識別するための番号です。また、デフォルトゲートウェイは、外部のネットワークに接続するための番号です。 IP アドレスは、通信機器ごとに異なる番号を設定する必要があります。 サブネットマスクは、通信したい機器同士同じ番号を設定します。（同じ番号を設定すると同じネットワーク上に通信機器が接続されていることになります。） デフォルトゲートウェイは、一般的にはルーターの IP アドレスを設定します。 それぞれ、0 ～ 255 の数字 4 組で設定します。

上記設定の工場出荷時の値は以下のとおりとなります。

ネットワーク設定	工場出荷時の値
IP アドレス	192.168.11.129
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.11.1

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定



1 システム機能 0わ を押す	ヒョウジ ホウコウ ヒョウジ ホウコウ	・操作をやめる→ 戻る
2 前へ / 次へ を押して、 「ネットワーク設定」 を選ぶ	ネットワーク セッテイ ネットワーク セッテイ	
3 決定 を押す	IPアドレス ニュウリョク IPアドレス ニュウリョク	・はじめに IP アドレスの 値を確認してください。
4 下 を押す	192・168・ 011・129 011・129・ 192・168・	
5 テンキーで IP アドレスを 入力する	192・168・ 011・129 011・129・ 192・168・	・内容を確認して変更があ る場合は、入力してくだ さい。
6 決定 を押す	IPアドレス ニュウリョク IPアドレス ニュウリョク	・引き続き、サブネットマ スクの値を確認してくだ さい。
7 前へ / 次へ を押して、 「サブネットマスク 入力」を選ぶ	サブネットマスク ニュウリョク サブネットマスク ニュウリョク	

手順 6・10・14 で、
入力した数字が設
定範囲外の場合、
エラーメッセージ
「NG」が表示され、
間違った箇所が点
滅表示されます。
その場合は、入力
し直してください。
(0 ~ 255 の数字
4 組で設定してく
ださい)

ネットワーク設定

8	 を押す	255・255・ 255・000 255・255・ 000・	
9	テンキーで サブネットマスクを 入力する	255・255・ 255・000 255・255・ 000・	・ 内容を確認して変更がある場合は、入力してください。
10	 を押す	サブネットマスク ニュウリョク サブネットマスク ニュウリョク	・ 引き続き、デフォルト ゲートウェイの値を確認 してください。
11	 前へ /  次へ を押して、 「ゲートウェイ入力」 を選ぶ	ゲートウェイ ニュウリョク ゲートウェイ ニュウリョク	
12	 を押す	192・168・ 011・001 011・192・ 001・	
13	テンキーで デフォルトゲート ウェイを入力する	192・168・ 011・001 011・192・ 001・	・ 内容を確認して変更がある場合は、入力してください。
14	 を押す	ゲートウェイ ニュウリョク ゲートウェイ ニュウリョク	
15	 を押す	WAIT WAIT	・ 設定を保存した後、通常 表示に戻ります。

スグスマ / マイトル切り替え

- スグスマモードとマイトルモードを切り替えます。
- ・工場出荷時は「スグスマモード」に設定されています。
 - ・「スグスマモード」とは、モバイル端末等から、簡単にメッセージを表示できる機能です。詳しくは「スグスマ 2 で使用について」をご覧ください。
 - ・「マイトルモード」とは情報配信機能です。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ・スグスマ機能とマイトル機能は同時に使用することはできません。



1	システム機能 0わ	を押す	ヒョウジ ホウコウ ヒョウジ ホウコウ	・操作をやめる→ 戻る
2	前へ / 次へ	を押して、 「スグスマ / マイトル 切替え」を選ぶ	スグスマ マイトルキリカエ スグスマ マイトルキリカエ	
3	決定	を押す	スグスマモード スグスマモード	
4	前へ / 次へ	を押して、 「スグスマモード / マイトルモード」を 選ぶ	[スグスマモード] スグスマモード [マイトルモード] マイトルモード スグスマモード マイトルモード	
5	決定	を押す	OK OK	・数秒後、自動的に再起動 してスグスマモードとマ イトルモードを切り替え ます。

設置について

正しい設置をするために

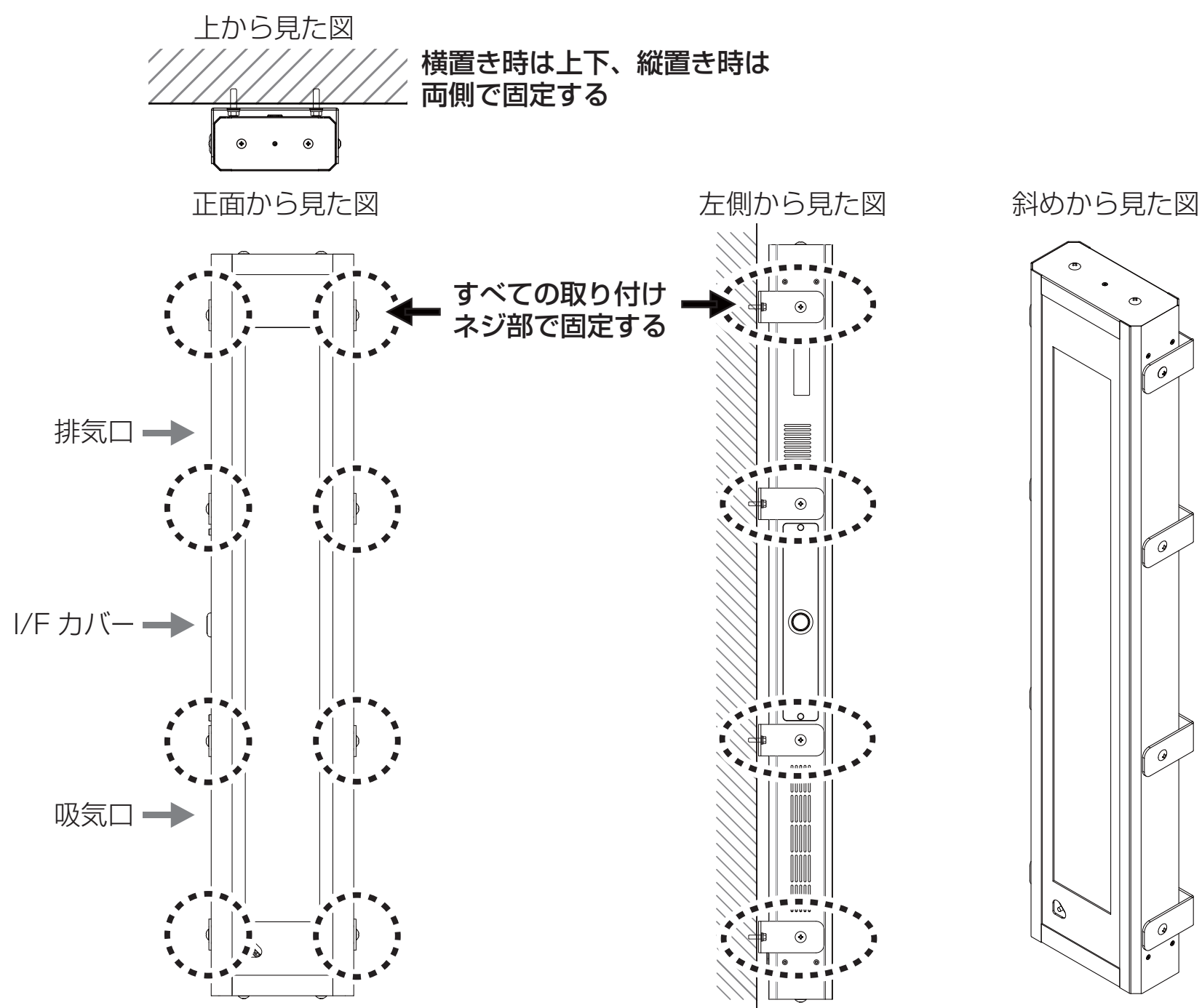
「安全上のご注意」（4 ページ）をよくお読みのうえ、以下の注意事項を守って正しく設置してください。

- ・ 本体の吸気口・排気口・I/F カバー・水抜き穴は絶対にふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり故障の原因になります。
- ・ 必ず水抜き穴が下側にくるように設置してください。横置き用の水抜き穴は本体底面（吸気口・排気口と兼用）、縦置き用の水抜き穴は本体側面にあります。
- ・ 本体を設置するときは、USB メモリーの抜き差しが可能なスペースを確保してください。
- ・ モルタル壁に取り付ける場合、本体の金属部が壁中にあるメタルラス ※¹、ワイヤラス ※¹ または金属板と接触しないように設置してください。（※ 1：モルタル下地に用いる金属製の網）
- ・ 必ずアースの取り付けをしてください。（アース工事は下記の注意書きに従って正しく施行してください。）
- ・ 一辺のみの固定はしないでください。横置きに設置するときは、必ず上下の取り付けネジ部すべてに金具を取り付けてください。縦置きに設置するときは、必ず両側の取り付けネジ部すべてに金具を取り付けてください。ネジ不足など、取り付けに不備があると本体が落下するおそれがあります。
- ・ 移動式のスタンドは転倒のおそれがあるので、必ず壁面等に金具で固定してください。
- ・ オプション品は設置する前に取り付けてください。オプション品の取り付け作業完了後、I/F カバーは確実に閉めてください。また、雨天での作業は絶対に行わないでください。雨水などが侵入して故障の原因になります。

○ 正しい設置例

以下の設置例を参考に正しく設置してください。

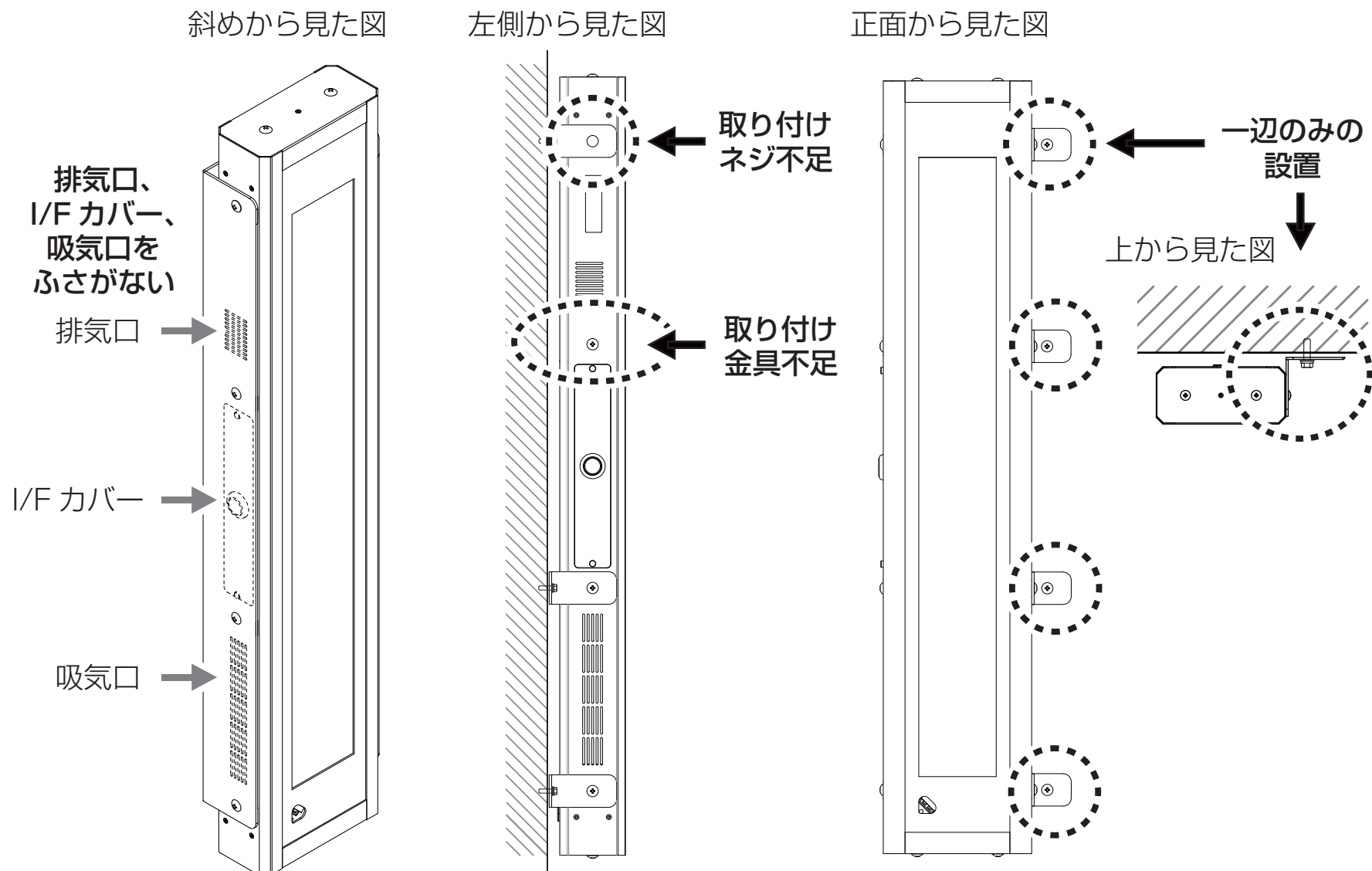
※縦置き時の設置例（横置き時も同様）



× 誤った設置例

取り付けに不備があると本体が落下するおそれがあります。正しい設置例を参考に設置してください。

※縦置き時の設置例（横置き時も同様）

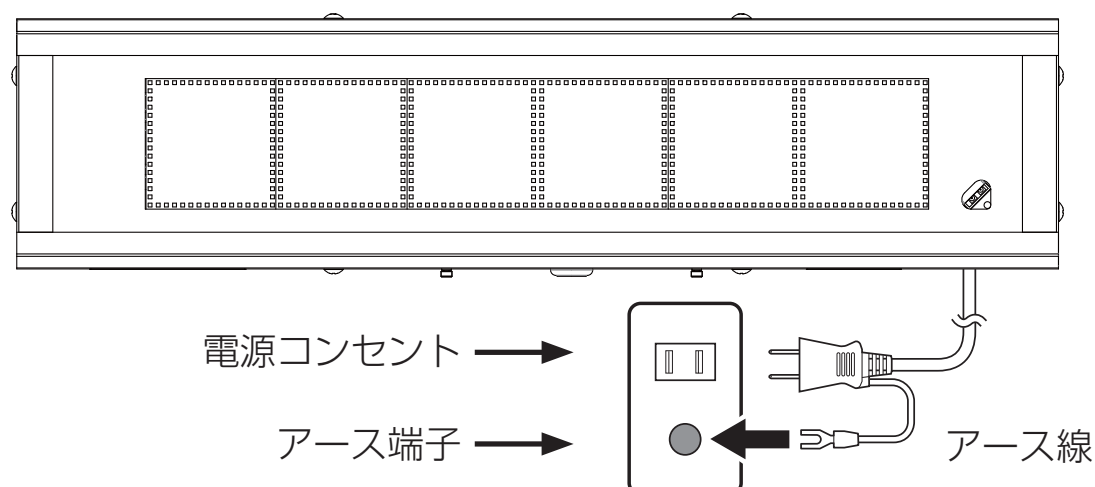


アースについてのご注意

感電事故防止のため、必ずアースを取り付けてください。

ご不明な点はお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

- ・アース工事は、電気工事士の有資格者によって D 種接地工事を行ってください。
(アース工事費は、本製品の価格には含まれておりません。)
- ・水気や湿気の多い所および屋外に設置する場合は、必ず漏電遮断器が設置された電源をご使用ください。
(法令で規定されています。)
- ・ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
(法令で禁止されています。)
- ・設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アースを取り付けてください。



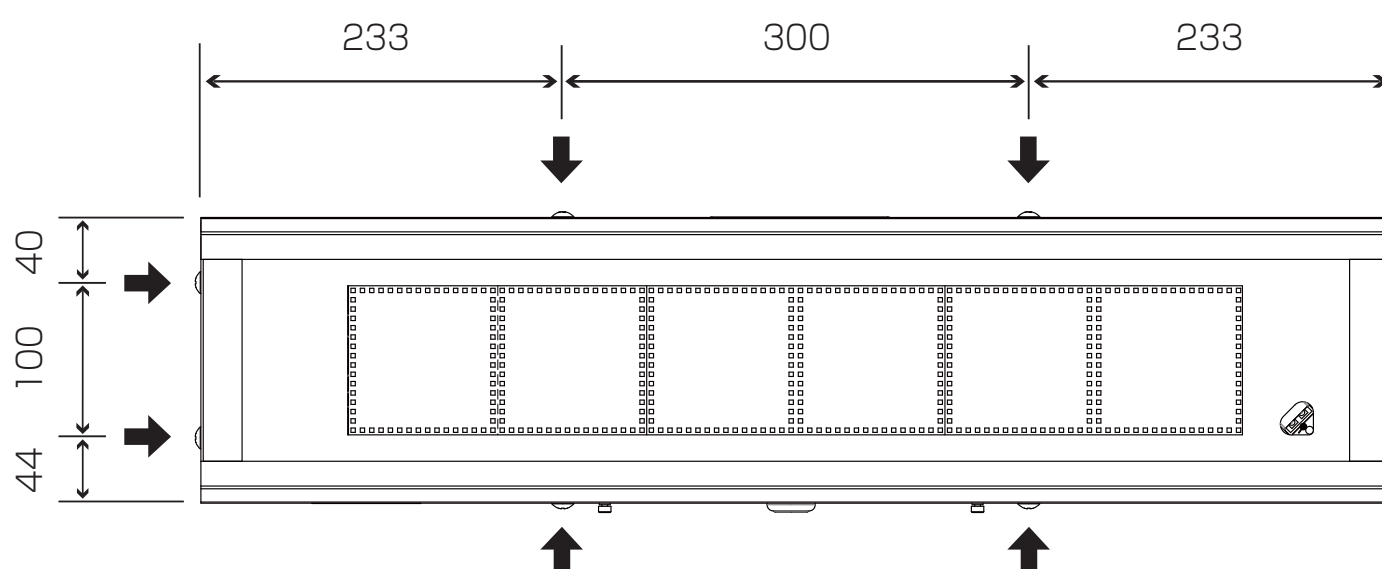
設置について

取り付けネジについて

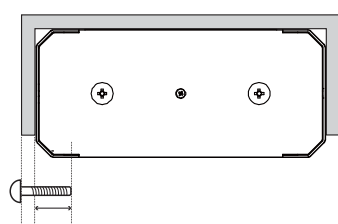
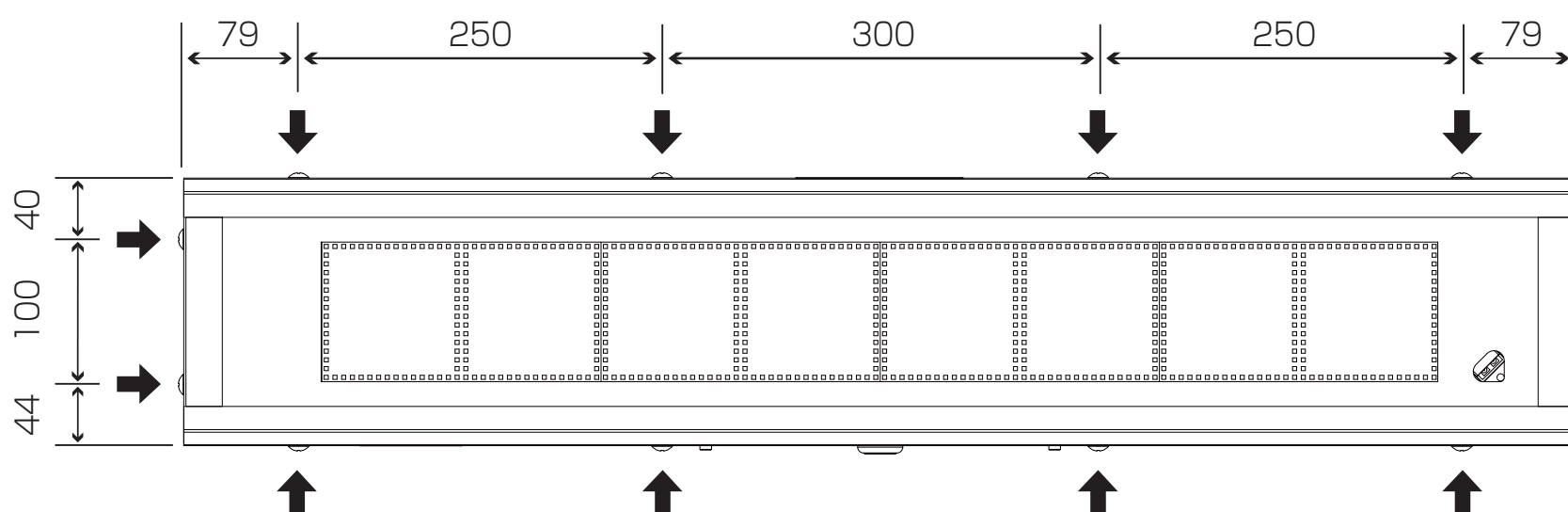
あらかじめ本体についているネジ（M6）は、板厚 2 ～ 3mm の取り付け金具に使用できます。取り付け金具の板厚が異なるときは、本体内部に入るネジ長が 11 ～ 15mm のネジを選定してください。

●●●●● **取り付けネジの位置** ●●●●●

6 文字 1 段赤色表示機



8 文字 1 段フルカラー表示機



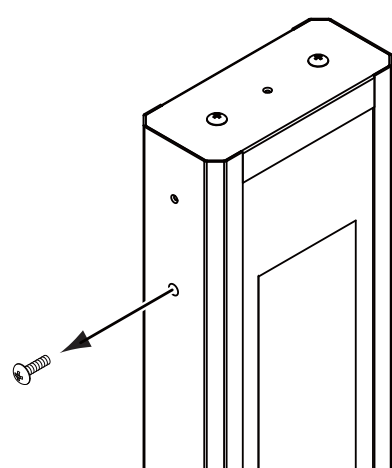
取り付け用ネジ M6

推奨締め付けトルク：260N・cm

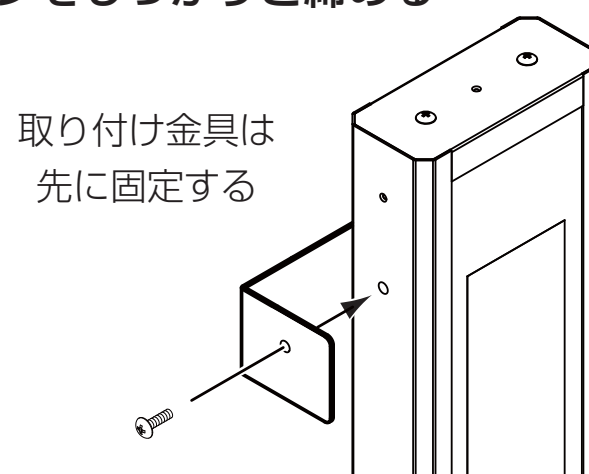
本体内部に入るネジ長：11～15mm

● ネジの取り付けかた ●

- ## 1 取り付けネジ部のネジを外す



- 2** 取り付け金具に本体を取り付け、ネジをしっかりと締める



正しくお使いいただくために

お手入れの前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体が汚れたときは

- ・汚れやほこりは柔らかい布でからぶきしてください。
- ・ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性洗剤）をふくませ固くしぼった布でふき、その後、からぶきしてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。本体が変質するおそれがあります。
- ・化学ぞうきんを使用する場合は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。

お願い

本製品にホースなどで勢いよく水をかけないでください。吸気口・排気口などから内部に水が侵入し、感電や故障の原因となります。（通常の降雨に対しては安全な構造となっています。）

吸気口・排気口のお手入れ

- ・ほこりや虫などで吸気口・排気口が汚れたときは、その都度、取り除いてください。吸気口・排気口が目詰まりすると、内部に熱がこもり、異常発熱の原因になります。
- ・お使いの環境に合わせて定期的に（少なくとも 1 カ月に 1 回程度）、吸気口・排気口の汚れを取り除いてください。

長期間使用しないときは

- ・本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。表示が行われていない状態でも電力を消費しています。
- ・リモコンの電池を取り出してください。
- ・長期間電源プラグをコンセントから抜いていた後でお使いになるときは、改めて現在日時を設定してください。

直射日光が当たる所へ設置する場合

直射日光が当たる所に設置する場合、必ず電源を入れた状態（通電状態）にしてください。

- ・本体が直射日光に当たると本体内部が高温になり、部品の劣化や故障の原因になります。本体を通電状態にしておくことで冷却用ファンが動作し、本体内部を冷却しますので、直射日光に当たる所に設置する場合は必ず通電状態にしてください。（無通電状態では冷却用ファンが動作せず、本体内部が高温になるおそれがあります。）

動作モード一覧（文章データ）

文章データ用の動作モードは以下のとおりです。カッコ内は縦置きにした場合の動作モード名です。

番号	動作モード	番号	動作モード
01	ランニング	46	十字スリット
02	ランニングストップ	47	上下回転（左右回転）
03	バックランニング	48	左右回転（上下回転）
04	バックランニングストップ	49	ブロック回転
05	上スクロール（右スクロール）	50	上下ターン（左右ターン）
06	上スクロールストップ（右スクロールストップ）	51	左右ターン（上下ターン）
07	下スクロール（左スクロール）	52	ブロックターン
08	下スクロールストップ（左スクロールストップ）	53	ブロック渦巻き
09	左上スロープ（右上スロープ）	54	レンガ
10	左下スロープ（左上スロープ）	55	画面点滅
11	右上スロープ（右下スロープ）	56	画面反転
12	右下スロープ（左下スロープ）	57	順次点滅
13	左パイル（上パイル）	58	順次反転
14	右パイル（下パイル）	59	上下分割イン（左右分割イン）
15	拡大ズーム通過	60	左右分割イン（上下分割イン）
16	拡大ズームイン	61	交互イン
17	拡大ズームアウト	62	交互斜めイン
18	縮小ズーム通過	63	上下バイブレータ（左右バイブレータ）
19	縮小ズームイン	64	左右バイブレータ（上下バイブレータ）
20	縮小ズームアウト	65	交互バイブレータ
21	ストップ	66	ワイパー
22	上ペイント（右ペイント）	67	フェードイン
23	下ペイント（左ペイント）	68	フェードアウト
24	左ペイント（上ペイント）	69	フラッシュ消灯
25	右ペイント（下ペイント）	70	フラッシュ反転
26	左上ペイント（右上ペイント）	71	文字スライド
27	左下ペイント（左上ペイント）	72	文字スライドストップ
28	右上ペイント（右下ペイント）	73	文字バックスライド
29	右下ペイント（左下ペイント）	74	文字バックスライドストップ
30	スターダスト	75	文字転がり 1
31	レーダー	76	文字転がり 2
32	ボックスイン	77	文字トップスライド
33	ボックスアウト	78	文字上レインボー（文字右レインボー）
34	下ブラインド（左ブラインド）	79	文字左レインボー（文字上レインボー）
35	右ブラインド（下ブラインド）	80	文字斜めレインボー
36	下ブラインド交互（左ブラインド交互）	81	背景上レインボー（背景右レインボー）
37	右ブラインド交互（下ブラインド交互）	82	背景左レインボー（背景上レインボー）
38	上カーテン（右カーテン）	83	背景斜めレインボー
39	下カーテン（左カーテン）		
40	左カーテン（上カーテン）		
41	右カーテン（下カーテン）		
42	上下カーテン（左右カーテン）		
43	左右カーテン（上下カーテン）		
44	交互カーテン		
45	ダイヤカーテン		

動作モード一覧（イメージデータ）

イメージデータ用の動作モードは以下のとおりです。カッコ内は縦置きにした場合の動作モード名です。

番号	動作モード	番号	動作モード
01	ランニング	46	十字スリット
02	ランニングストップ	47	上下回転（左右回転）
03	バックランニング	48	左右回転（上下回転）
04	バックランニングストップ	49	ブロック回転
05	上スクロール（右スクロール）	50	上下ターン（左右ターン）
06	上スクロールストップ（右スクロールストップ）	51	左右ターン（上下ターン）
07	下スクロール（左スクロール）	52	ブロックターン
08	下スクロールストップ（左スクロールストップ）	53	ブロック渦巻き
09	左上スロープ（右上スロープ）	54	レンガ
10	左下スロープ（左上スロープ）	55	画面点滅
11	右上スロープ（右下スロープ）	56	画面反転
12	右下スロープ（左下スロープ）	57	順次点滅
13	左パイル（上パイル）	58	順次反転
14	右パイル（下パイル）	59	上下分割イン（左右分割イン）
15	拡大ズーム通過	60	左右分割イン（上下分割イン）
16	拡大ズームイン	61	交互イン
17	拡大ズームアウト	62	交互斜めイン
18	縮小ズーム通過	63	上下バイブレータ（左右バイブレータ）
19	縮小ズームイン	64	左右バイブレータ（上下バイブレータ）
20	縮小ズームアウト	65	交互バイブレータ
21	ストップ	66	ワイパー
22	上ペイント（右ペイント）	67	フェードイン
23	下ペイント（左ペイント）	68	フェードアウト
24	左ペイント（上ペイント）	69	フラッシュ消灯
25	右ペイント（下ペイント）	70	上パニング（右パニング）
26	左上ペイント（右上ペイント）	71	下パニング（左パニング）
27	左下ペイント（左上ペイント）	72	左パニング（上パニング）
28	右上ペイント（右下ペイント）	73	右パニング（下パニング）
29	右下ペイント（左下ペイント）	74	左上斜めパニング（右上斜めパニング）
30	スターダスト	75	左下斜めパニング（左上斜めパニング）
31	レーダー	76	右上斜めパニング（右下斜めパニング）
32	ボックスイン	77	右下斜めパニング（左下斜めパニング）
33	ボックスアウト		
34	下ブラインド（左ブラインド）		
35	右ブラインド（下ブラインド）		
36	下ブラインド交互（左ブラインド交互）		
37	右ブラインド交互（下ブラインド交互）		
38	上カーテン（右カーテン）		
39	下カーテン（左カーテン）		
40	左カーテン（上カーテン）		
41	右カーテン（下カーテン）		
42	上下カーテン（左右カーテン）		
43	左右カーテン（上下カーテン）		
44	交互カーテン		
45	ダイヤカーテン		

故障かな？

次の項目を点検しても状態が改善しない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

表示機の状態

状態	原因 / 対処
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれているかどうかご確認ください。抜けている場合は、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源プラグはコンセントに差し込まれているが、何も表示しない	表示部を確認してください。 ・ 左下に 1 つ点灯：表示時間外です。営業タイマーの設定を確認してください。 ・ 右下に 1 つ点灯：表示時間中ですが、表示するデータがない状態です。 営業タイマー、チャンネル表示、チャンネルタイマー、優先タイマーの設定を確認してください。 ・ 中央下に 2 つ点灯：表示 OFF 状態です。リモコンの表示 ON/OFF キーを押して表示 ON にしてください。
表示がおかしい	表示データが異常な状態になっている可能性があります。 電源を入れ直し、表示データを確認してください。
操作中や表示中に画面が暗くなった	電子部品を保護するため、内部温度が異常に高くなると、自動的に輝度が低くなります。温度が下がると元の輝度に戻ります。
パスワードを忘れた	お買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障かな？

エラーメッセージ

メッセージ		状態 / 対処
パスワードが チガイマス	パスワードが チガイマス	・パスワード認証で、入力したパスワードが設定したパスワードと違ってしています。正しい番号でもう一度やり直してください。 ・パスワード設定で、再入力したパスワードが間違っています。もう一度 1 回目の入力からやり直してください。
ニュウリョク ハンイガイデス	ニュウリョク ハンイガイデス	・テンキーでの入力で、設定範囲外の値を入力すると表示されます。
モジデータが アリマセン	モジデータが アリマセン	・文字入力で、選択したチャンネルに文章データ以外が登録されているため、文章の新規作成および編集はできません。チャンネルの内容を確認してください。
イメージデータが アリマセン	イメージデータが アリマセン	・イメージ設定で、選択したチャンネルにイメージデータが登録されていないため、動作パラメータの編集はできません。チャンネルの内容を確認してください。
トウロクデータが アリマセン	トウロクデータが アリマセン	・チャンネルタイマーや優先タイマーで、文章データやイメージデータが登録されていないチャンネルにタイマーを設定しようとした場合に表示されます。 ・割り込み表示で、文章データやイメージデータが登録されていないチャンネルを選択すると表示されます。
PCセッテイズミ ヘンシュウ NG	PCセッテイズミ ヘンシュウ NG	・営業タイマー、チャンネルタイマー、優先タイマーにおいて、複数のタイマーがあらかじめパソコンで設定されているときに表示されます。複数のタイマーを設定している場合は、タイマー内容は変更できません。（詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）
USBエラー	USBエラー	・データ読み込み／書き込みのときに、USB メモリーが挿入されていない場合に表示されます。USB メモリーを挿入し、再度読み込み／書き込みを行ってください。

メッセージ		状態 / 対処
LSDデータが アリマセン	LSDデータが アリマセン	・データ読み込みのときに、USB メモリー内に対象データがない場合に表示されます。USB メモリー内のデータを確認してください。
テンソウエラー	テンソウエラー	・データ読み込み中に、読み込みエラーが発生しました。再度読み込みを行ってください。 ・データ読み込み後、異常なデータの場合に表示されます。データを確認してください。
NG	NG	・現在日時設定、営業タイマー、チャンネルタイマー、優先タイマー、目標日設定で実際にありえない日付や時刻を入力すると表示されます。正しい日時でもう一度やり直してください。 ・リセット、初期化でパスワードが間違っています。正しい値でもう一度やり直してください。 ・ネットワーク設定の IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ設定で 0 ～ 255 以外の数値を入力すると表示されます。0 ～ 255 の値に入力し直してください。
TEMPエラー	TEMPエラー	・本体内部の温度が高くなっています。電源プラグをコンセントから抜き、1 時間程度その状態にし、内部温度が下がってから再び電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ※直射日光に長時間あたると、内部温度が上昇し、エラー表示になることがあります。 ※電源を再投入した後もエラー表示される場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 ・吸気口 / 排気口が目詰まりしている場合は、汚れやほこりを取り除いてください。
FANエラー	FANエラー	・本体内部冷却用ファンの動作が異常です。復旧しないときは、修理が必要になりますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下の GNU General Public License（以下「GPL」とします）または GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付の GPL/LGPL の条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel
boa
busybox
coreutils
findutils
gcc
gettext
iptables
libiconv
proftpd
uClibc
wireless_tools
u-boot

これらのソースコードの入手に関しましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot

effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.



**TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent

infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the library's name and an idea of what it does.
Copyright (C) year name of author

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among

countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.

Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License

as published by the Free Software Foundation; either version 2

of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,

but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of

MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the

GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License

along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details

type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a

programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

OpenSSL ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL (「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む)」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<OpenSSL>

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit(<http://www.openssl.org/>).

OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Original SSLeay License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

以上

本体（6 文字 1 段赤色表示機）

項目	内容
品番	NS-RS61MTS（片面のみ）
表示サイズ(横置き時)	約 576(W) × 96(H)mm
表示文字数	6 文字 1 段 (1 文字サイズが 16 × 16 ドットの時)
使用ドット数	1,536 個
1 文字のサイズ	12 × 12、16 × 16（文字サイズで表示文字数が変わります。）
発光素子	超高輝度 LED
表示色	赤色（1 色 32 階調）
輝度切り替え	自動切り替え（3 段階）／手動切り替え（8 段階）
タイマー	営業タイマー／チャンネルタイマー／優先タイマーによる表示開始・終了時刻の設定
入力方式	① USB メモリー（同梱の「USB デバイスについてのお知らせ」参照）
	② 付属リモコン
外部 I/F	① USB ポート
	② LAN
接点入力	無電圧接点 2 ポート
信号出力	信号出力 2 ポート（電圧：3.3V 定格電流：10mA）※ 電圧印加不可
表示動作数	文章：83 種類 イメージ：77 種類
チャンネル数	150 チャンネル
	オリジナルデータ登録チャンネル (ch001 ～ 150) ：150 個
電源電圧	AC100V（50/60Hz）
消費電力	最大：約 50W
	待機時：約 10W
停電補償	約 60 日 ※時計のみ補償（周囲温度 25℃、約 30 時間完全充電時）
構造	防雨構造（JIS C0920-2003 保護等級 3）
環境条件	気温：-10 ～ 40℃
	相対湿度：10 ～ 90%（ただし結露しないこと）
外形寸法	約 766(W) × 184(H) × 81(D)mm
質量	約 4.4kg
電源コード	長さ約 4m

本体（8 文字 1 段フルカラー表示機）

項目	内容
品番	NS-FS81MTS（片面のみ）
表示サイズ(横置き時)	約 768(W) × 96(H)mm
表示文字数	8 文字 1 段 (1 文字サイズが 16 × 16 ドットの時)
使用ドット数	2,048 個
1 文字のサイズ	12 × 12、16 × 16（文字サイズで表示文字数が変わります。）
発光素子	超高輝度 LED
表示色	RGB（各色 32 階調）
輝度切り替え	自動切り替え（3 段階）／手動切り替え（8 段階）
タイマー	営業タイマー／チャンネルタイマー／優先タイマーによる表示開始・終了時刻の設定
入力方式	① USB メモリー（同梱の「USB デバイスについてのお知らせ」参照）
	② 付属リモコン
外部 I/F	① USB ポート
	② LAN
接点入力	無電圧接点 2 ポート
信号出力	信号出力 2 ポート（電圧：3.3V 定格電流：10mA）※ 電圧印加不可
表示動作数	文章：83 種類 イメージ：77 種類
チャンネル数	150 チャンネル
	オリジナルデータ登録チャンネル (ch001 ～ 150) ：150 個
電源電圧	AC100V（50/60Hz）
消費電力	最大：約 60W
	待機時：約 10W
停電補償	約 60 日 ※時計のみ補償（周囲温度 25℃、約 30 時間完全充電時）
構造	防雨構造（JIS C0920-2003 保護等級 3）
環境条件	気温：-10 ～ 40℃
	相対湿度：10 ～ 90%（ただし結露しないこと）
外形寸法	約 958(W) × 184(H) × 81(D)mm
質量	約 5.7kg
電源コード	長さ約 4m

保証とアフターサービス

よくお読みください

リモコン

項目	内容
品番	TR01-V1
外形寸法	約 38(W) × 168(H) × 24(D)mm
質量	約 100g（電池含む）
使用電源	単 4 形乾電池（2 本）
操作距離	約 5m 以内（リモコン受光部より）
環境条件	気温：0 ～ 40℃
	相対湿度：10 ～ 90%（ただし、結露しないこと）

修理を依頼されるとき

「故障かな？」（66 ページ）」の記載に従ってご確認のうえ、直らないときは、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店までご連絡ください。

●●● 修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容 ●●●

◆お客様のご住所・お名前・電話番号

◆品名LED 表示機

◆品番NS-

◆お買い上げ日年 月 日

◆故障または異常の内容できるだけ具体的にお知らせください。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 7 年です。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用の LED 表示機の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音をする
- ・電源コード・プラグが異常に熱くなる
- ・その他の異常や故障がある



以上のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため
記入されると
便利です

お買い上げ日

年 月 日

品 番

NS-

販売店名

電話 () -

電話 () -

お客様ご相談窓口



TBグループ

<http://www.tb-group.co.jp>